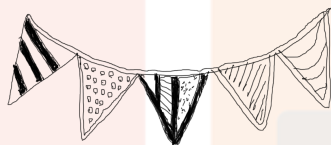


コクリ!キャンプ

未来コ・クリエーションサミット

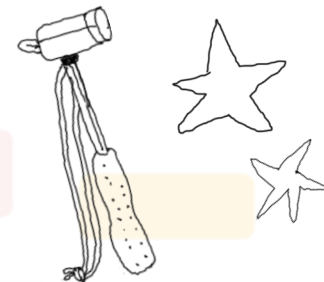
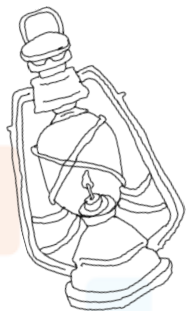
新しい火を起こしましょう。
日本と地域の未来のために。



キャンプログ一覧

※公開許可いただいた方のみ掲載



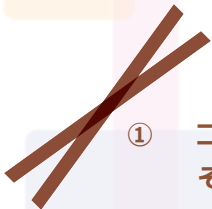
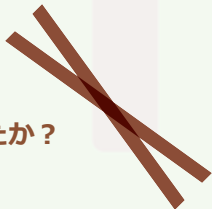




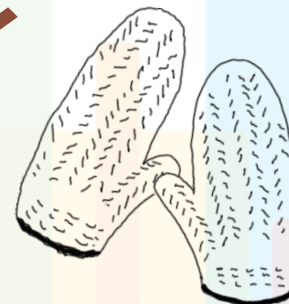
地域のこと、日本の未来のことを語り合う

コクリ! キャンプ 未来コ・クリエーションサミット

2月17日 恵比寿ガーデンプレイス ザ・ガーデンホールに、

日本各地から情熱と志、知恵とリソースを持った130人が集結。

- 
- 
- ① コクリ! キャンプは、一言でいうと自分にとってどんな体験でしたか？それはなぜですか？
 - ① コクリ! キャンプで特に印象に残っている出来事や刺激を受けた言葉などがあれば、教えてください♪
 - ② コクリ! キャンプに参加して、ご自身の想いや考え方などに変化が起きましたか？
 - ③ コクリ! キャンプでの出会いをきっかけにしたアクションの予定やアイデアがあれば教えてください。
 - ④ 今後、タネビストのひとりとして、何にどのように取り組もうと考えていらっしゃるでしょうか？
- 
- 



コクリ! キャンプ

未来コ・クリエーションサミット

秋田 大地（あきた だいち）

高知県観光振興部地域観光課 主事

- ① 人と人との出会いによって、無限の可能性を感じた場でした。想いがある多種多様な人と場をつくることにより、様々なアイデアが生まれるだけでなく、実践者だからこそアイデアを行動に移すことができる…凄い場と感じました。
- ② ボランティア経済についての話。全ての人の出会いに意味があるという言葉。
- ③ 想いが行動への一歩だと思います。そのために、想いを引き出してあげることが大事だと思います。
- ④ まず、地域の人と地域に対する想いについてプレストしてみたいと思います。
持続可能な地域づくりを推進していくために現在取り組んでいる教育旅行の誘致。
人口減少や高齢化が進むなかで、持続可能な地域づくりをしていくために、まず住民の方が地域に対してどんな想いがあるかを聞き出して、残していくために何ができるかという論点で話をしてみたいと思います。
- ⑤ 地域愛から生まれる地域づくりの促進。そのために、まずは想いを引き出すことから実践してみます。



東 日出雄（あずま ひでお）


高知県四万十町役場企画課地域おこし協力隊

① 「夢のような体験」

- ・各方面の第一線で活躍されている方々と自分の持っている課題や目標を共有することが出来た。
- ・今でもなぜあの「場」に自分が参加することができたのか？不思議な気持ちです。大きな流れの中に紛れ込んだ感覚になった。
- ・潜在意識があるとしたらその意識が良い形で働いて、今まで自分で無意識のうちに決めつけていたリミッターが解除された感覚になった。



② 「想いで繋がる仲間さがし」の時、引き寄せられるようにグループが出来た。

- 1・持続可能な未来を創る学び舎 
- 2・子ども（人）の無限大の可能性を活かせる環境作り
- 3・自分の中の「子ども」（無邪気・素直）を表現しよう！

皆様、時間をかけて行動や活動をされて来た方ばかりなので、言葉の一つ一つに重みがあり、聞いていて鳥肌が立つ機会が何度もありました。

懇親会のお話した方が言っていた言葉で

「自分の中であきらめられない理由がいくつあるか。」がとても強く心に残っています。

- ③・自分の中では今まで届いたことの無い領域に手が届いた喜びと興奮を感じました。
- ・自分という存在の可能性に気付かせてくれた、このキャンプをコーディネートしてくれた三田 愛さんを始め、スタッフの皆様、キャンプに参加し素晴らしい「場」を作り上げたゲストの方たちに感謝の気持ちで胸がいっぱいになった。
 - ・今回味わった高揚感と同じくらい、自分に対する能力の低さや活動の歩みの遅さ、不甲斐なさ、自信のなさがリバウンドの様に押し寄せてきて、自分の中でその気持ちを整理するのに時間がかかった。
- ④ キャンプで縁が出来た方に「スラックライン」を活用したまちづくりを勉強させていただいています。道具も準備し、地域のキーパーソンの方にも資料や想いを伝え、種火が着火しかけています。町で一番大きい小学校の校長先生にもスラックラインを使っでの「場作り」を持ちかけましたが、「そんなに甘くない」という意見の中にも、昼休みや放課後を利用して子供に教えても良い了解を得ることが出来ました。
- ★
- まずは自分がスラックラインを勉強し、積極的に担当地区の小学校へ行って子供たちにやってもらう所から始めます。
- 担当地区で子供たちが興味を持って取り組みだしたら校長先生と一緒に林映寿さんのお寺に研修に行き、その場の熱を感じてきます。そのために出来ることを段階的に積み重ねていきます。
- ⑤ 私のいる高知県は全国の平均より10年早いペースで少子高齢化や過疎化が進んでいます。今後、避けることのできない少子化が原因で起きる休校問題に対して、現在、手探りの中で行っている自分の活動や取組みが、同じ様に10年後日本のどこかの地域で起きてくる休校活用課題の何かしらの解決のヒントや事例になり、社会に貢献したいと考えています。

井口 智裕 (いぐち ともひろ)

株式会社いせん 代表取締役 一般社団法人雪国観光圏 代表理事
合同会社雪国食文化研究所 代表理事



① 気づきと発見、そして出会いの場

今まさに自分が悩んでいたことが入ってきましたし、それを応援してくれそうな仲間に出会えました。確かに不思議な磁力を感じました。

② 「ボランタリー経済」の価値観

③ 企業の価値について考えるようになりました。

- ・ ボランタリー資源の重要性
- ・ 働きがいがある会社そのものに価値があるということ
- ・ 地域づくりの評価は決して貨幣だけで計測するのではなく、助け合える仲間の信頼関係の価値もあわせて評価すべきだと思いました。



④ 2回目のターンで、某省庁の方と同席でした。パネルの内容がほぼ同じだったので、

たまたまご一緒させていただいたのですが、名刺交換したら、* *におられた方の所属先ということもあり、お互いに大変びっくりいたしました。終始地域づくりの課題についての議論が多く、懇親会の最中もずっと話をしておりました。そこでのアクションですが、同省庁が考えている事業に雪国観光圏として参加をする。また地域づくりの財源としての宿泊税の導入について地域に入って一緒に考えましょうという話になりました。

⑤ 雪国観光圏でコクリキャンプをやりたいと思います。

時期は次年度5月から6月に一日かけて行いたいと考えています。ぜひご相談に乗ってください。

今津 新之助（いまづ しんのすけ）

株式会社ルーツ 代表取締役／シゴトデザイナー

- ① 自分の原点を思い出す体験。大学時代よりお世話になったAさんと再会し、今の活動の原点となった大学時代の思い・体験を思い出すことができた。
- ② 今の僕の産みの親（原点）であるAさん、育ての親であり同志としてともに活動を続けているBさんは親友であり仕事仲間でもあり、そして、以前よりお会いしたかったデザイナーCさんと、Aさんが取組んでいるD市の課題解決をテーマ軸として同じテーブルでダイアログできたこと。
- ③ 今の活動の原点を改めて思い出した。
超一流のメンバーのなかで、自分の果たすべき役割を考えると、やはり人事採用・チームビルディングなのではないかと認識した。
- ④ まだ特に具体化はしていませんが、これを機に、ワタシにとって尊敬すべき市長のお力になれば最高だと思っています。あと、デザイナーさんと、当社デザイナーCさんとのコラボレーションの機会をつくっていきたい。
- ⑤ 沖縄を拠点にした事業活動を粛々と行う。
東京に拠点をおく組織で、生産者（地域・農村）と生活者（都市）とを結ぶ役割を果たしたい。



丑田 俊輔（うしだ しゅんすけ）

ハバタク株式会社 代表取締役



- ① 世界各地で行動する仲間との同窓会的な場でもあり、新たな出会いや勇気をもらえるあったかい場でした。
- ② 「（ダボス会議では貨幣経済の枠内の話ばかりしているけれど、）目に見えない資本や経済があって、これが新たな価値を伴って復活してくる。」
自給経済、贈与経済、貨幣経済がハイブリッドな地域での生き方自体が、世界に向けたメッセージになっていくのだと実感しました。
- ③ 人の数だけ、「根っこ」がある。
喜怒哀楽、色々な感情が絡み合いながら行動に繋がっているんだなあと思いました。
何らかの原体験と問題意識をもって、「なんとかしたい」「不正義への怒り」といった想いがモチベーションに転化する場合もあるし、純粹に「楽しい！」という感覚が人を巻き込み社会を動かしていくこともある。シリアスなもの、マッチョなもの、やわらかいもの、言葉にならないもの。
コクリエーションの面白さは、このいろんな根っこや感情一つ一つを、受け入れあいながら奏でていくところにあるんだと感じました。
- ④ カマコンバレーから刺激をいただき、昨年立ち上がった「ごじょうめ朝市大学」（町民有志でつくる学びと実践のコミュニティ）で、地域のおばあちゃんやおじいちゃんのTEDスピーチみたいなことができたらと思いました。
- ⑤ 最近取り組んでいる活動としては、
 - ・全国の古民家をつないでネットワーク型の村を作るシェアビレッジ・プロジェクトの立ち上げ。（まずは五城目町の133年の茅葺古民家からスタート。2/27よりクラウドファンディングで村民募集開始）
 - ・イナカベンチャー（土着ベンチャー）の増殖に向けた活動。保存・発酵食のブランドづくりや、イナカベンチャーアクセラレータープログラム。
 - ・地域をまるごと巻き込んだ小学校建築（地域ぐるみで考え、地域の素材で建築し、学ぶ）などなど。是非、コクリしたいです！

大島 正幸（おおしま まさゆき）

株式会社ようび（木工房ようび） 代表・職人

- ① 同志に会え、未来の火を感じた一瞬
あくまで、スペシャルな数時間でした。そこから、これから、この想いと出会いの種火をどうすれば、未来に繋げれるかが大切と思い「一瞬」としました。
- ② いつかの未来。振り返ったとき、この日が歴史を変えた瞬間だったねと。
その日にしよう！
- ③ 近いことを考えてる人がいる。それは「もしかして。」を現実にする魔法
- ④ ある企業の方と、余剰国産材×日本の最先端技術で、日本の旅館を元気にする家具を作ろう！という種火が生まれました！
- ⑤ 作戦会議を一緒にさせて頂ければ嬉しいです！



岡田 誠（おかだ まこと）

富士通研究所R&D戦略本部・シニアマネージャー

- ① 懐かしい顔に、久しぶりに会える場。いろいろな縁でつながった人と、旧交をあたためることができました。新しい出会いもありました。
- ② 田坂さんが言われていた「成熟した社会とは、見えない価値が見えることだと思う」。
- ③ ああいう光を落としたキャンプのような演出はいいなあと思いました。
- ④ 少し話しをする時間が後半短かったので、同じテーブルだった方々とは、またゆっくり話しをしましょう、と別れました。
- ⑤ 認知症のプロジェクトは少しずつ形ができてきたので、これをゆっくりと拡げていきたいと思っています。原田さんと進めている「.org」プロジェクトは、入り口のあたりは動き初めているので、この形を目に見えるようにしていきたいと思っています。



小田 展正（おだ のぶまさ）

高知県観光コンベンション協会 地域観光プロデューサー

- ① ・いくつかの価値観に自信を持てたが、いくつかの価値観が揺さぶられた。
・自分の知らない知識・智恵を持った人たちに触れることができたから。
- ② 「信頼資本」、「見えないものが見える」、「アイデアの湧く場」、
「プロセスにまったく興味ない」という言葉にハッとした。
- ③ 身体を動かしたくなった。
- ④ 高知版コクリをやる。そこにコクリで出会った方をお招きする。最高のアイデアと最高の宴から化学反応を起こす。まだ妄想段階です。
- ⑤ 目の前の場を温め続ける。仲間を増やす。



小野 裕之（おの ひろゆき）

greenz.jp副編集長/NPOグリーンズ理事

- ① 同窓会のような場所でした。近しいテーマで活動していたり、関係ではあるものの、まとめてお会いできる機会はなかなか無いので。
- ② 皮肉屋だからできること。僕もそういうところあるなあ、と思い出しました。笑
- ③ いきなりゴールに向かわない。狙い過ぎない。肩の力を抜いていこうと思いました。柳澤さんの影響が大きいですね。
- ④ 年度末でかなり予定が詰まっていたので、近視眼的になっていたのも、一直線でゴールに向かうことばかりが、最短ルートではないよなあ、ということを感じました。
- ⑤ グリーンズの仕事、淡々と続けていきます。必ず、みなさんの良い接点をつくれると思うので。



風見 正三（かざみ しょうぞう）

宮城大学事業構想学部 副学部長 教授

- ① 原点に帰り未来を確認する場。創発と感覚の重要性を再認識できた
- ② 田坂さんの言葉は金言でした。
石の目を読む 戦略は戦うことを省く 事物の螺旋的發展 ヘーゲルの思想
対立物の相互浸透 古く懐かしいものが新しい価値を持って再来してくる
- ③ つながりの奇跡を改めて感じる事ができた。複雑系における螺旋的な発展を
目指していきたい。改めて原点に帰ることができた。
- ④ 東北で私塾を開くことを考えていましたが、未来のこどもたちのために森の学校を
完成させますが、さらに、そこから、それを支える私塾を作っていきたいと思っています。
そして、様々な私塾の連合をつくりたい。志の連鎖で本気で世の中を変える！
それがこれからのミッションです。誰とするかはおのずと運命的に決まっていくでしょう。笑
- ⑤ 真剣に生きる人々の心に火をつけることを引き続きしていきます。志の連鎖が社会を救う
僕のメインテーマです。これからもつながっていきましょう。ガイアと共に未来へ



柏木 斉（かしわき ひとし）

株式会社リクルートホールディングス 相談役

- ① 地域と共に歩む自らの行動を振り返ることができる場でした。色々な立場、色々な世代、
色々な地域、思いの濃淡も様々なメンバーが集い、語り合うことで「地域のみinnと挑戦する」
ことの意味を改めて考えさせられました。
- ② パネラー、グループのメンバーの肩に力が入っていない「当たり前」な感じが、
日々の葛藤に正面から向き合っている強さを感じました。粘り強く、失敗、成功を
積み重ねながら取り組んでいる自信のようなものを感じ、大いに勇気付けられました。
- ③ 種火を応援する側にも継続して取り組むことがいかに重要かを痛感しました。
- ⑤ 現在、応援団の一人を務める自治体、地域に「今から3年、何が自分にできるか？」を改めてプランに落としてみ
ようと思っています。



鹿島 修二 (かしま しゅうじ)

三越伊勢丹ホールディングス 営業本部 営業政策部
MD戦略担当MD政策 マネージャー



- ① 「箱根駅伝」 未来に向かい、一人一人が努力し、悩み、たすきをつなぐ。
たすきが途切れそうになっても、仲間を思い、日本を思い満身創痍の中、足を引きずりたすきをつなぐ。見ているものの涙を誘い、心を揺さぶる。誰もしが、何か動き出さざるを得ない言葉にはならない偉大な力に突き動かされる。つらく険しい道のりも、皆で協力すれば一人では無理でも、進み、つなぐことができる。そんなことを感じさせた場であった。
- ② ・田坂教授と、柳澤社長のお話は非常に面白く、コクリ！の帰り道にスマホで本を取り寄せた。
(読了しました) すぐにでも、業務・生き方に役に立つ。
・ある地方行政の方との会話
私「一般企業にとっては、そのお悩み解決はついででできることだと思います。なぜ、相談してみないのですか？」
その方「いや、うちのような小さな何も無い地域は、★そんな企業様にお声などかけられない・・・」
私「いやいやいや！グイグイ来る地域はものすごいですよ。
しかも、何もくない素晴らしい地域じゃないですか・・・続く」
→日本人らしい謙虚な、まじめな地域の方ほど一人でお悩みを抱えてしまっている。
- ③ ・業務の中で、かならず貢献ということを意識使用と。この仕事の先には貢献、人々の笑顔が待っているか？と。
もともと、そういう気持ちを持っていたつもりであったが、強く強く意識するようになった。
・コクリ！キャンプに参加する前は劣等感というか、役に立つかな？私（当社）という気持ち
今は、貢献することをやるしかない、やりたい！ しかも、私（当社）ならできる（笑）！
- ④ ここ、もう少し具体的に話す時間が欲しかったです。
コクリのキャンプには、あらかじめネットワークを持っている方が多かったのですが私は、つながりがほとんどなかったので自己紹介、できることを説明しているうちにタイムアップになってしまった。
→ただ、皆様には単なる小売り、仕入販売以外の側面を知っていただきご好評を賜ることができた。
近所のメディアの方とは4月に会社見学をさせて頂き、笑とファッションなどの文化を融合させたソフトを検討する

- ⑤ 地方にはいくつもの悩みがある。一方、当社は百貨店 無数の取組先、無数のスペシャリストと信頼関係があります。当社がハブとなり、お悩みとスペシャリストをつなぐこと、そこに当社のスパイスを加えることにより新たな提供価値を生むことができるのではないかと思います。

本業の商談において、ブレイクタイムにコクリ！の話を必ずしています。意外なことに、全く関係のないような企業でさえ地域貢献をしたいという熱い思いがある。しかし、どのように貢献すればよいのかわからなくてモジモジしている状況。これ、パタパタ仰いで、タネビストを近づけたら（つないだら）、燃え上がる！！

パタパタしてくれた人 …… 三田さん

近づけたい（つなぎたい）人 …… 鹿島



太田 直樹（おおた なおき）

総務大臣補佐官

- ① 素（す）でリラックスしていたんだけど、集中して深いところまで行けそうな感じ。懇親会までが、本当にあつという間だった。
- ② いろいろ印象に残ることはあったが、一つ挙げるとすれば、会場の設えが良かったと思う。（擬似的ではあるけれど）火を囲んで話すというのは何か不思議な力がある。
- ③ いま、新しい何かが生まれるプロセスにいる、という思いを確認できた。
- ④ 宮崎と長野には是非行きたい。宮崎はほぼ決まった。長野にはこれから声をかけたい。それぞれ、見に行きたいものがある。
- ⑤ 抽象的に言えば、地方にある「言葉にならないもの」を、まず「話し言葉」にする。具体的には、地域の資産を活かした事業のモデル化や事業を生み出すコミュニティづくりのお手伝い。次に「話し言葉」を「書き言葉」にしていく。規制の撤廃や行政の支援体制づくり。



加藤 遼（かとう りょう）

（株）パソナ Dotank本部 ソーシャルインキュベーター 兼 （株）地方創生 取締役

- ① 挑戦し続ける勇気が湧きました。楽しく挑戦している方々の笑顔と情熱が作り出す雰囲気醸し出されていました。
- ② “挑戦は人の繋がりを創り、その繋がりの中で新たな挑戦者が生まれる”
後半のダイアログの議論で、“なぜ挑戦することが大切なのか”という話題を投げかけたときに、複数のメンバーから出た言葉を、自分なりに整理しました。
- ③ 自らの想いや考え方を実践し続ける勇気が湧いてきました。
田坂先生の講話によって、自らが実践している内容の目的が再整理されました。
また、参加者と想いを共有することで、仲間の存在に改めて気づきました。
- ④ 志の連鎖で本気で世の中を変える！
- ⑤ 普段交流したことがない人たちの交流の場を日本単位で創り、交流によって人がお互いを活かしあい、双方の課題解決に向かうようなプロジェクトを推進します。



嘉村 賢州（かむら けんしゅう）

NPO法人場とつながりラボhome's vi 代表理事
元京都市未来まちづくり100人委員会 運営事務局長（1期～3期）

- ① ルイーダの酒場
これから一緒にプロジェクトを起こしたら楽しそうな人がたくさんいたから。
- ② あれだけの実績と実現力のある方々があれだけの長い時間ひとつの場に居続けたこと。
- ③ 集まることもとても意味があることだと思った以上に思いがけなく他分野の人が一緒に行動してしまっていて理解し合う必要もあるかなと感じました。
仕事やプロジェクトをすることで理解し合う人が多いのではないかと。
- ④ 今のところ予定はないです。
- ⑤ 「大規模ダイアログを活用した地域のまちづくり」をテーマにしたブックレットはいずれ作りたい。



加藤 小也香 (かとう さやか)

株式会社trippiece RETRIP事業部マーケティングマネジャー
イノベーション東北事務局



- ① ・新鮮
 - ・それぞれのセクターで大活躍されている、あれだけの人数の方々が、ボランタリー経済とマネタリー経済の融和や、場所や所属にとらわれない新しい働き方や、多様性を信じて異能により旧弊さを打ち破っていくこと、等を当然の前提として語られる空気感を、とても心強く感じました。世界は螺旋階段をまわりながら変わっていったらいい！
- ② ・最後のワークショップの方法論
 - 背負っている組織や実績に関係なく、完全に「関心軸」のみでの素直なつながりができる。結果、前提を整える時間をすっとばしダイレクトに深い議論に。これ、真似させていただきます。
- ③ ・自分自身、旧来型の資本主義システムに嫌悪感があるほうと聞いていましたが、意外にそうでもないんだな、というのが新発見でした。新しい社会システムを作ろうとする議論の中にああしていざ身を置いてみると、「え、それって儲かるの」「多少は競争もしたほうがいいんじゃないの」「サステナブルじゃなくなっちゃうよ」などなど思っちゃう自分が不思議でした。ようはバランスだな、など。
- ④ ある地域の方と地域をズブズブ体験してはまらずにいられないような旅コンテンツを作ります。都心の人と地域の人と、小規模ずつのマッチングをして、在東京〇〇人（東北人でも四国人でも何でも）をいっぱい作りたい。そうやって創発しあう固まりを各地にたくさん作りたい。そのモデル事例にしたいと思っています。
- ⑤ まずは、どこに行っても「妄想はなるべくデカく」を買きます。笑えるぐらい大きな本気の夢には周囲をポジティブに巻き込み、意見を言ったり、動かずにいられなくさせる力があると思う。本業の旅というドメインで、そういう動力の源になりたい。というか、なります。

川口 大輔（かわぐち だいすけ）

株式会社ヒューマンバリュー 主任研究員



- ① 様々な思考が交錯する中で、自分自身の役割、目的意識などを再探求する場。ここ最近考えていた目的意識のイメージがより鮮明になったため。
- ② 最後のダイアログです。素晴らしい方々とテーブルをご一緒でき、そこでの対話に刺激を受けました。
- ③ 自分が何のために仕事をしているのかが、再構成されるとことにつながりました。
- ④ フェイスブックで多くの方とつながれました。
- ⑤ 多様な価値社会の中で、みなにとってのより善い未来を生み出していくことに、これまで以上に丁寧に、真摯に取り組んでいきたいと思えます。



北里 有紀（きたざと ゆうき）

有限会社御客屋旅館 代表取締役

NPO法人南小国まちづくり研究会みなりんく 代表理事



- ① 心に贅沢な体験だったなあと。出会いと、繋がりと、それから起こる可能性が溢れた場だったと感じたからです。
- ② マネタリー経済、ボランタリー経済のお話。特にボランタリー経済に紐づく見えない価値の可視化が進めば、地域は変革がもっと進むと感じました。
- ③ 世の中には本当にいろんな考え、人がいるのだなあと。いつも居やすい環境にばかり居てはいけないなあと感じました。そして、自分の人生で果たすべき役割についても想いを馳せ、考える良い時間となりました。
- ④ 以前からの繋がりや進捗中のもはありますが、2/17の出会いで進むものは今後ご報告させていただければ幸いです。
- ⑤ 田舎で誠実に生きていくこと。それによって、自分の大切な人々を幸せにしたいと思っています。

岸本 綾（きしもと あや）

西宮市 観光振興課 係長

- ① 偶然の神様がくださる贈り物の素晴らしさに、驚きと感謝でいっぱい！そんな体験でした。なぜなら、自分が出会いたいと思っていた人たちに、会うことができたからです♪
- ② 「成熟した経済について問うことは、成熟した精神について問うことと等しく、それはつまり、目に見えないものに価値を見出せるようになることだ。」という田坂広志さんのお言葉に、深い感銘を受けました。
- ③ これからの時代、マネーベースでの豊かさを追求することから、心の豊かさを追求することへと、“幸せの基準”がシフトしていくんだろうなあ、とおぼろげには思っていましたが、田坂さんのお話や、阿部さん・柳澤さんのような実践家の方々のお話からそれが確信に変わりました。
- ④ 地域課題を「みんなゴト化」して地域と市役所の活性化に成果を挙げておられるA市さんの『わいがや会』にさっそく視察に伺いました！
- ⑤ 今後もA市さんや、今回ご縁をいただいた方々と情報交換しつつ、西宮市のシビックプライド醸成の取組みを“市民の皆さんと一緒に”進めていきたいと思えます。そのために、参加者一人ひとりが“自分ゴト”スイッチを自らON！していく、そんな場づくりにチャレンジしたいと思えます。



北岡 敦広（きたおか あつひろ）

上天草市役所 観光おもてなし課 特別職



- ① 新しい地域変革スタートの日
今迄やってきた想いや変革の取り組みを全国に広げていくための開会宣言をして、新しい種火と種火が交じり合い「全く新しい取り組みが始まる」記念すべき日。
- ② 田坂さんが話したこと。
未来は簡単に変わらないが『世の中の流れを予測することが重要である』
ボランティア経済の中で現場の経験からの知恵資本、関係資本、信頼資本は過疎化が進んでいる小さな街にもあり、その資本を磨く事によって新しい地域らしさが生まれる予感がする。
- ③ このキャンプに参加して、あらためて信頼と安心と知恵と関係性がある場を作る重要性がわかった。
信頼できている場を作ることは簡単ではないけど、何を始めるにも準備できる状態にすることが最重要である。
これからは地域に知恵を単に持って帰るのではなく、地域と地域が直接繋がりながら新しいものを産み出したカマコンバレーのような目の前で頑張っている人たちを応援しながら種火を大きくしていく動きを実践していきたい。
- ④ 九州には黒川や宮崎などの具体的にアクションしている地域があり、コ・クリメンバーとの九州連携を強化し九州版コクリをスタートさせ、具体的な新しい地域の人材との出会い創出やアクションを産み出す場をプロジェクトメンバーを集め作っていくことを今年中にやっていきたい。
- ⑤ この4月に地域の中にどっぷり入りこんでプロジェクトマネジメント力を活かす仕事を立ち上げます。
人口3万人くらいの小さな自治体で変えたい想いはあるが変える力がない場所に、新しい地域資源の掘り起こしをスタートさせます。
まず初めに上天草市と連携して、人との触れ合いが観光客の満足度向上させるポイントになっているが、現状、宿泊施設や物産販売施設などにおいてホスピタリティに格差があり、統一したおもてなしが出来ていない状況下を打破するため、「上天草観光大学」を設置しておもてなし度の向上を構築するためのワークショップを開催する。

木下 修文（きのした おさふみ）

株式会社コスモスイニシア 市場・事業戦略部 新規事業企画課

- ① 視野を広げる機会。仕事・教育・住宅などについて考える機会でもあり、国や地方について考える機会でもあったから。
- ② ボランティア経済
- ③ 最近、ボランティアな生き方やコミュニティやコミュニケーションを大事にする生き方が大事だなと思っていましたが、経済活動そのものまでもボランティアな流れになっているという話は妙にしっくりきまして、私の考え方も変化したものと思われます。
- ⑤ アイデア段階ですが、①同じグループの方とオフサイトミーティングを実施、
②近いうちに黒川温泉にプライベートで旅行をする、の2点について実行できればと思っています。
上記①②とともに、個人的には地方がイキイキするような仕掛けを空き家に着目して考えてみたいと思いますが今のところ全くノーアイデアです。ゆっくり時間をかけて考えます。



小安 美和（こやす みわ）

株式会社リクルートジョブズ 経営統括室 執行役員

- ① 改めて自分の根っこに向かい合う、平日、都会にいながら非日常体験でした。
- ② 田坂さんの「螺旋的発展」。事業経営もその通りだと実感している今日この頃です。
- ③ 改めて、さまざまな想いを持ったひとびとで世の中は成り立っていると感じました。また、やはり、日本の根深い課題として「働き方」の課題があると確信。
- ④ チームの皆さんとの対話から、働き方の多様化、日本における労働時間に対する意識変革を起こしたいと思いました。地域活性化に取り組む人の人手不足、働き方の選択肢がないことにより、想い、志を継続できない人が多い。特に女性。地域活性、まちづくりに関わる、特に女性のネットワークを創りたいと思いました。
- ⑤ まずはジョブズから。さまざまなひとが働く組織作りを進めたいと思います。



齋藤 潤一（さいとう じゅんいち）

特定非営利活動法人まちづくりGIFT 代表理事

- ① これまでご指導いただいた先輩方に会えたり、全国の仲間に出会ったり、同窓会のような感じだった。またこれまでの歩みが、間違っていなかったと確認できた体験だった。
なぜ＝先輩方にご指導いただいた事を実直に行い、結果を出し、また再会ができたから
- ② ・抽象的な考えから、具体的な行動へ ・地域ごとを、自分ゴトに
- ③ 経済価値を生み出すことの大切さを、再確認しました。
経済なき、まちづくりは、寝言である
- ④ コクリで再会した官僚の方に、当団体が主催する移住定住イベントに来てもらうことになりました。これぞ、火種が広がる典型なので、是非、コクリで、取材して欲しい！！！！！！
- ⑤ コクリで出会った方と、実際に行動していく



佐竹 正範（さたけ まさのり）

ヤフー株式会社 ショッピングカンパニー ご当地eコマース ストア開発
マネージャー

- ① 富士山でブレスト。あれだけ大勢の人数が集まっていながら、空気の澁みがない
驚くほど綺麗な空気で驚いたのが印象的。
- ② 1と同じです。^^;
- ④ とりあえず、上天草に行く！
- ⑤ 今、仕事で、政府の地方創生に関わらせてもらっているので、日本中、至る所に
ヒダネ作りをしたいと思います。



佐藤 真一（さとう しんいち）

株式会社バリュー・クリエーション・サービス
代表取締役 バリュー・クリエイター

- ① 自分が「自分らしくあること」を客観的に確認できる場/周囲に同じタイプが存在しないので…。
- ② 田坂氏の「目に見えない資本の活用を本気で考える事が重要」という言葉。
- ④ 忙しすぎて、今のところ…？
- ⑤ 色々な方々と「対話」を通じて「共働→共創」を実践していく。



関 治之（せき はるゆき）

一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事

- ① 元気が出る体験でした。
地域を愛する様々な熱い人の活動に勇気づけられると同時に、今後の活動に色々なヒントを貰うことができました。
- ② 同じくIT活用を推進している立場として、カマコンバレーが町の人を巻き込んでいくプロセスに刺激を受けました。
- ③ 色々なコミュニティの人を呼んで発表してもらいイベントをやりたいと思いました。
- ④ 今Aさんと企画中のイベントに、今回出会った方に登壇していただきたく調整中です。
- ⑤ 引き続き、Code for Japan で様々な人とつながって、一緒にコラボイベントをやりたいと思います。



沢登 次彦 (さわのぼり つぐひこ)

株式会社リクルートライフスタイル 事業創造部
部長兼じゃらんリサーチセンターセンター長

- ① 一人でやる事の限界と皆でやる事の可能性を感じた場
- ② 若い参加者が、チームの話し合った内容を積極的に発言し、その事を通して、
どんどんつながっていきこうとする姿勢と学ぶ姿勢に、今後の可能性を感じた。
- ③ つながるべきタイミングで、つながる人と出会えることを、今以上に、
大事にしていきたい。
- ④ A市長、A市役所の皆さん、Bさん、Cさんとのコクリが始まりそうです。
- ⑤ 一地域に深くかかわり、地域に必要な確固たる変化を起こしていきたい。



坂倉 杏介 (さくら きょうすけ)

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科非常勤講師、
三田の家LLP代表

- ① 潮目を感じる日。コクリ！があたりまえに広がる光景を見られた感じがしたから。
- ② 無意味なことに意味を与える。そこからエネルギーが湧出すること。
地域を生かすのは、課題解決ではなく、やりたいことをやる信念
とそれを受容する風土だなあと思いました。
- ③ 変化というか、これまでも続けてきたことをこれからも
続けていくのだと、思いを新たにしました。
- ④ 黒川に行く。宮崎に行く。丹波に行く。具体的な内容はわかりませんが、ちかぢか、きつとここで出会った人の地
に赴くことになると思います。
- ⑤ 刺激的な人との出会い、刺激的な取り組みを紹介していただけたらうれしいです。



武田 亮介 (たけだ りょうすけ)

黒川温泉青年部 部長 黒川温泉観光協会理事

- ① 日本をよくするためいろんな業界から集まったいろんな人と繋がるキャンプ！
- ② ・学生の方と話して、彼女のすごい気持ちがつたわりました。
もっと話したかったけど時間がなかったです^^ ;
・「すべての出来事には意味がある！」自分もそう思っていたけど、
改めて再確認ができました。
- ③ 黒川温泉のことをもっとみなさんに紹介したいとおもいました！
個人的には問題だらけの温泉地とおもいますが、話せばほんとにいい地域だと
実感しました。ですので、これから宣伝していきたいとおもいます。
- ④ Aさんが東京で就職できない新卒者2000人の就職活動の世話をしてる。黒川では慢性的な人手不足。
そんな話から、20人ぐらいを黒川に連れてきて就職活動をするって話になりました。
黒川には60の事業所があるので、毎年20人ぐらいは募集があるとおもうので、永続的にこの就職活動は
できるとおもいます。これで人が育てばますます地域に魅力がでるし、接客も向上するし、助かります。
- ⑤ とりあえず、話したかった方のところに話を聞きに行きたいと思います。



田鹿 倫基（たじか ともき）

日南市役所 商工観光課 マーケティング推進室/日南市マーケティング専門官

- ① いまの仕事のモチベーションが分かった。
これは、日南市の人たちや、ステークホルダーの人たちとの一緒にいても、気がつかないポイントだったので、初めて会う人達であるキャンプをすることは非常に意義があったかと思います。
- ② キャンプでは無かったのですが、3日目のラボで、文化とは「起こる事象に対してその人達がどう認識するのか、その積み重ねのこと」とおっしゃる方がいて、本当にそのとおりだなあと思いました。
まさにそれが地域性だったり、文化だったりするとハラオチしました。
- ③ 変化は無かったのですが、自分のモチベーション（突き動かされる力の根源）が明らかになったいい機会でした。
- ④ これまでどおり、日南市の全体最適のために頑張ります♪
- ⑤ リクルートや中国での経験を活かして、地域が元気になる事例を創ることで、全国の地方のさきがけモデルにしていきたい。



但馬 武（たじま たけし）

社会を変えていく人が集う場を創るhome仕掛人

- ① 欲しい未来をつくっていきたいと願っている方々を集める活動を個人で行っていますが、私が集めることができないような多種多様な方々がいらっしゃって、とてもいい場でした。ひとことというならば、多種多様な方々が集まって何かがかわりそう！と思えるワクワクする体験でした。
- ② 皆様の目がキラキラしていたのが印象的です。
- ③ 最近自分の役割を、誰かと誰か（もしくは何か）を繋ぐ「結う人」と決めています。あの場にはたくさんの繋ぎたい人々がいて、そのためには、自分の役割をもう少し可視化というか形にする必要があるなって感じました。というのも、自分のことを説明するときに、理解してもらおうのが大変でした。いかなあって。
- ④ 会場にいらっしゃったうち1/4くらいが知り合いで、その方々とは色々と予定されているアクションがありますが、新たに出会った方とのアクションは予定がないのです。ただ、私自身地域にこだわって活動をしておらず、持っているスキルなどでどこかお手伝いできそうなところを支援したいなあって感じています。
- ⑤ いま成果をあげている「欲しい未来をつくりたいと思っている方々」を集めるイベントについては、今後も拡大していきながら継続していきたいと思っています。また今年から考えている「中小企業のソーシャル化」についてはまだ動き出したばかりで全然成果をあげてないので、進めていくつもりです。



太刀川 英輔（たちかわ えいすけ）

NOSIGNER / デザインストラテジスト



- ① 人生の中でも記憶に残るような「いい日」でした。
そこに集まっている人たちがとても気持ちよかったから、
そこに行かなければ会っていない人たちと会えたから、理由はいろいろあると思います。
- ② Aさんとペアでインタビューした時間が印象に残っています。
立場のある人が素直なままで在ってくれるだけで、動きにくいものが
動き始めるんだなと思いました。
- ③ 以前まで感じていたことを、強く確認してくれたような時間でした。
- ④ 明日、A市長に会いに行きます～。何が生まれるのか、楽しみです！
- ⑤ いろいろやりすぎていて書ききれません。日本と世界のためにデザインで頑張ります。

田中 達也（たなか たつや）

株式会社リクルートコミュニケーションズ HR事業推進部 サービスデザインG
★インナーコミュニケーションコンサルタント
★シニアクリエイティブディレクター



- ① 新しい人に出会う体験でした。
同じ想いでいる、普段出会えない人とたくさん語れたから
- ② たくさんの若者がネットを駆使して、地域ビジネスを起こし、成功していること
挑戦はやはり、一人では生まれず、失敗体験や成功体験を持つ人々のネットワークで
生まれることサポーターネットワークの可能性は、ある！こと。
- ③ もともと感じていたネットワークの重要性と可能性が進化したこと。
そこに取り組む必要性を強く感じたこと。ヒントをもらえたこと。
- ④ まず、出会った人たちとメールでつながります
- ⑤ 挑戦する人を支援するサポーターズネットワークを都会から起こせないかと

地場 裕理子（ちば ゆりこ）

高知県観光コンベンション協会 プロモーション部

- ① 原点を思い出す体験でした。なぜ自分が今の場所に来たのかをあらためて思い出し、それは間違っていなかったなと再認識できたので。同時に、原点から進歩できているかという、あまり自信がなく、あせりを感じもしました。
- ② グループワークで自分の感性や直感を評価していただくコメントをいただいたのが嬉しかったです。刺激を受けた言葉は「事物の螺旋的発展」
- ③ 明確な変化があったかというとまだもやもやとしています。
とりあえず周囲にキャンプの熱量を伝えてみました
(いつもは、もう少し自分の中で消化して落ち着いてから伝えようとするのですが、この熱そのものが、貴重な気がしまして)。
- ⑤ 自分自身の業務のアクションだけではなく、職場の若手が目標やアクションプランを設定する時に、ともに考えたいと思います。その場のひとつひとつが種火になることを願って。



殿倉 由起子（とのくら ゆきこ）

株式会社太陽農場勤務 日本野菜ソムリエ協会認定野菜ソムリエ
国際ポムリエ協会認定ポムリエ

① 自分の中にくすぶっていた想いを改めて考え直すきっかけ。最近では活動範囲が増えてきて、とても忙しいまま目の前にあることだけをこなしていた感じでした。実際に自分の想いはあったけれど今回のコクリ！キャンプで立ち止まって考え直すことができたのはとてもよかったです。そしてたくさんの新しい出会いによって、自分の想いをまた一步前に進めることにも近づいたと思います。



② 田坂さんが話していた、「事物は螺旋的發展をする」ということ。
ゆっくりだけど古いものが新しい価値観を備えて少しずつ進化しているということ。
「意味のない出会いはない、意味のない人生などない」という言葉。
自分でも人との出会いは大切にしていきたいと考えているので。

③ 自分の想いを考え直すきっかけとなったと同時に、やっぱり自分が本来やりたいと思っていたことをこれから実行したいと思った。最近では人に誘われるがままにいろいろな活動に参加してきて、自分が主体的に動くということが減ってきたのだとおもう。やはり自分がやりたいと思ったことを実行しなければならないなと思った。

④ A社：木とりんごのコラボでなにかイベントができないか
B社：お笑いと農業のコラボイベントができないか
てげてげ通信：宮崎県に行く！

⑤ 農業をより多くの方に知ってもらおう活動を積極的に行いたい。

中川 洋二（なかがわ ようじ）

野村證券株式会社人材開発部次長

- ① 一言で表現すると「共創の場」。いろいろな方々のさまざまな考え方を聞いて、おもしろかったです。会場のレイアウトやライティング、素敵でした。
- ② 「これは」というものはありませんが、それぞれが「何かしたい」という意欲にあふれた場であったと思います。
- ③ いかになんでも話せるような「安全な場」をつくれるかということに、思いを巡らせています。
- ④ なかなか腰が重いものですから、当時のことを思いだしながら、「熟慮中」といった段階です。
- ⑤ すぐに「行動」とまではいきませんが、ネットワークづくりと情報収集・仮説立案をコツコツしていきたいと考えています。



野村 恭彦（のむら たかひこ）

株式会社フューチャーセッションズ 代表取締役
金沢工業大学（KIT 虎ノ門大学院）教授

- ① 同窓会。
これまでの様々な同志が一同に会せたのは、とても素敵なことでした。
- ② ボランタリー経済とマネー経済が相互浸透する、という田坂さんの言葉。
- ④ Aさん家に行って、CSVの新プログラムづくりをする。
とりあえずBさんと飲む。
来年度、C県でフューチャーセッションをやるときに、観光協会の方々とコラボする。
- ⑤ 地域のイノベーションをつなぐ。



長友 まさ美（ながとも まさみ）

サンワード・ラボ株式会社 代表取締役 宮崎てげてげ通信 代表



- ① 日本の未来を本気で考える、志高い人たちがこんなにも全国にいるんだと感じ、勇気づけられた一日でした。また、その場にいられることを本当に幸せに感じました。志高い人たちが繋がれば、自分の想像をはるかに超えた素晴らしい未来が創造できることを確信しました。自分のギフトをもっとこの世界のために使いたいです。
- ② 田坂さんの「目に見えない資本が動けば、目に見える資本も動く」という言葉が印象的でした。目に見えない価値こそ、一日にしてはならずと感じたので、日々の小さな積み重ねを大事にしていきます。透明性の高い時代にどんどんなっていくと感じたので、★言行一致を心がけていきます。
- ③ 一人の力は小さくても、どんなことも一人の想いからはじまることを感じました。想いを語り合う場づくりを増やし、聴き、小さな種火を増やし、そこを大きくしていくサポートをもっとしたいと改めて感じました。文化資本がたまっていくようなリアルな場づくりも行いたいです。
- ④ 今の仲間との活動をしっかり、地に足をつけてやり続けること。自分を大きくも、小さくも見せることなく、自分の想いや願いを表現、体現しながら生きること。会いたい人に会いにいき、一緒にやりたい人に「やりましょう！」ということ。
- ⑤ 地域の活動が見える化する仕組み。「こんな人、いたらいいな！」と「わたし、こんなことやりたい！」が、うまくマッチングするようなこと（漠然としています）

西釜 裕也（にしがま ゆうや）

上天草市役所 経済振興部 観光おもてなし課 観光振興係

- ① 可能性の広がり→自分の可能性を広げ、地域の可能性を広げられた場になったから
- ② ・地域のことを考え頑張っている自分って、「心地いい」と感じていたという発見
・自分の住んでいる地域にみんなが行く！と話がまとまったこと。
- ③ 地域がよそ者を欲しているように、よそ者は地域に入りたがっていると感じた。
ただ、その情報や人脈を繋げられるか広げられるか、地域に受け入れる体制が
できているか。コクリ！キャンプには多くの情報や人脈があり、自分は地域と
よそ者のつなぎ役になれる気がした。
- ④ コクリ！キャンプで出会った人々をよそ者として地域に入り込んでもらう。来てもらう。
- ⑤ 行政内では、継続して自分の立場を見極めながら変革に挑み続け、新たに自分の住んでいる地域で、
「なりゆきの未来」から「ありたい未来」へ進むための足がかりとして、地域の市職員を集めセッションする。
早速、4. 12の統一地方選挙以降に集まるようにしました。



西田 陽光（にしだ ようこう）

一般社団法人次世代社会研究機構・代表理事

- ① リクルートさんの企画に初めて参加でき良かったです。
昔からの知人も初めての人とも飲食のお陰で、美味しい食べ方談義に盛り上がりました。
- ② 部下をサポートするリクルートさんの上司の人柄の良さに感激！
- ③ 企画者側にとっては、他者の企画に参加すると、御客様目線体験がいろんな事を冷静に再認識できる。
- ④ チーム地遊人 京都の体験の旅企画（京都ガイドはAさん）
- ⑤ たまたまお声をかけていただきました再会者と初めてお会いした若者達がとても関心を持って下さったので、私が24年前から取り組んでいる「夜桜能」へご招待させていただくことになりました。日本の伝統芸能である能狂言を桜の下で関東で最も格式と歴史がある外舞台の薪能にお招きして若い方々にこそ一流の日本の伝統に触れていただければと、これまでも多くの学生さんや留学生や若者をご招待させていただいています。



橋本 哲典（はしもと てつなり）

南小国町役場職員/NPO法人みなりんく事務局長

① →全てがクリアになった瞬間です ^^

もんもんと考えてきたこと、見えそうで見えない、掴めそうで掴めないなんやかんやがスカッと晴れました。当日は腑に落ちた程度だったのですが、今思うとあの場が転機です。自分の考えをあらためて整理できた、相手に聞いてもらえた、背中を押してもらった、普段近い人たちにはちょっと照れくさくてあまり語れないことをあの場でひとつひとつ言葉にできたことがよかったです。



② 自分の根っこにある部分、うすうす感じてはいたけれども後一步のところが見えてきました。あの場所、タイミング、参加者やスタッフのみなさん、お話できたお一人お一人、自分にとって全てが必然という言葉がふさわしかったと思います。

③ 人間は理由が無くても行動できるし行動してもいい！誰かのためにとか、生活のためにとか、別に理由が無くとも「やってみたい！」という衝動にブレーキをかけなくてもいいと感じました。

④ 山に遺跡を造ります。意味も理由もありませんが、自分がなぜか心底やってみたいのでやってみます ^^

⑤ 実行あるのみ！

花形 照美（はながた てるみ）

リクルートホールディングス ソーシャルエンタープライズ推進室室長



- ① 日本の地域を元気にするという目的で、多様なフィールドで活躍し、問題意識の高い人々が あんなにたくさん集まったことにまずは驚きと、じゃらんリサーチセンター及び三田さんの日頃の努力に思いが及んだ。
- ② リクルートグループ内定者の若手が、年長者に交じって自分の意見を言い、違和感を臆することなく唱えていたこと。本当にダイバーシティな場であると感じた。いつものことながら田坂先生の言葉に感銘を受けた。
- ③ 田坂先生もおっしゃっていた「ボランタリー経済とマネタリー経済の狭間」にリクルートグループはいると改めて認識した。これからの企業の生きる道、世の中から必要とされ続ける企業へのステップとしても強く意識していきたい。★
- ⑤ このような取り組みをリクルートのCSR、CSV事例として、発信していきたいです。是非、発信の点でのコラボをお願いします。

林 映寿（はやし えいじゅ）

浄光寺 副住職



- ① 知恵の結晶。内容そして演出、このログどれをとっても知恵が感じられます。
- ② 私の服装を見て、とても気に入っていましたが～！！話をさせて下さい、という方と、話かけずらそう、という両方の方がいて驚きました（笑）
- ③ 産業や地域活性は、将来地元を担う子供達から行う事が必要だと実感しました。幼少期の想いや感情はかなり大人になっても引きずる。中学3年生をメインにその保護者も含めた、「知恵のわっ！」という企画を立案中。2015年の4月から開始する予定です。詳細は改めてご連絡致します。
- ④ 当日小布施から参加していた方と「知恵のわっ！」を企画。また、名刺交換させて頂いた方にも数名に同企画への協力を要請中です。
- ⑤ 地元地域への教育、そしてそれを全国各地へ展開。将来的には高校を創設したい。

前野 隆司（まえの たかし）

慶應義塾大学大学院システムデザイン
マネジメント研究科委員長・教授



- ① 出会い、思いの共有、思いを新たにする日、でした。田坂さんのボランティア経済の話も印象的でした。
- ② ボランティア経済。愛の告白りキャンプ。
- ③ う～ん。もともと思いを共有している人の会だったので思いは変わらなかったような感じがします。強化はされた気がするので、それも変化と言えば、変化。
- ④ Aさんと、自己変革の研究を開始しました。コクリキャンプの次の日には、地域活性化をしている皆さんのところへいつでもどこでも伺い、幸せをひるめる活動をする、と宣言しました！
- ⑤ 世界の平和と幸福の実現。

原田 英治（はらだ えいじ）

英治出版株式会社 代表取締役

- ① 頭では（薄々気づいて）考えていたことを、体験的に認識しているひとから、その感覚を表現にしてもらったことで、自分の中の仮説から腑に落ちたものに変化した。この学びを得るための機会だったように思います。
- ② 「よい家具は、光の粒が家具の縁をゆっくりと滑らかに移動して見える」
- ③ 人間の成長の方向性を、どこかで量的なものに捉えていた気がします。例えば、夢（想像力）はより広く、より大きくを求めていくことが成長の一部のように考えていましたが、深く、細かくを極めていって上がる視座も存在する。どこか市場経済の話とボランティア経済の話にも繋がる発見でした。
- ④ 柳澤さんと本を作ろうかな。Aさんの工房を見学に行こうと思う。
- ⑤ 楽しいと思えるものを楽しいと思える方法で、自然体で関わっていけたらと思います。その中で違和感を調整していく、最終的には、よりよい社会づくりに貢献することが自然体なひとになっていたら、結構幸せだね。



古野 庸一（ふるの よういち）

リクルートマネジメントソリューションズ 組織行動研究所 所長

- ① 滅多に会えないヒトと出会いの場
- ② ③ 地方の人は元気である。コクリで強く感じた。
中央官庁で言っている、地方消滅、地方創生と距離がある。
どちらが正しいのかと思うが、地方のヒトのリアルを優先したい
- ④ 今週、コクリでお会いした、Aさんに取材に行きます。
- ⑤ 新しい働き方を 引き続き、発信していこうと思っています。



本川 祐治郎（ほんがわ ゆうじろう）

富山県 氷見市長



- ① What : まさに『良質なキャンプ体験』
気のおけない仲間との友情の確認。普段 気づかない自然や環境への畏怖
生活の場を快適に設える愉しさとサイトスタッフへの感謝
Why : 過去のボーイスカウト時代のキャンプでの語らいと同じ感覚を肌が覚えていたから
- ② ジブンゴト感覚の移植 (by阿部さん)
- ③ パブリックセクターの経営においては更に明確に《5つの資本》増殖に邁進すべきだ！と
確信をお与え戴けました。田坂先生、ありがとうございました。
- ④ (ご本人にはまだお伝えしてありませんが、) A市の公共リノベーション第3弾“漁業交流館 魚々座”の
オープニングに 海士町の阿部さんにお越し戴ければと閃きました。
まさに、漁師さんたちの「人間力を伝えていきたい」場。想いは一だと存じました。
北陸におけるコクリの伝導者、三田さんの想いの体現者でありたいと意を強く致しました。
- ⑤ 先ずは漁業交流館魚々座での『北陸コクリキャンプ』開催を目指しご相談申し上げたいと存じます！



町塚 俊介（まちづか しゅんすけ）

慶應義塾大学 学生



① “ジャズセッション風綱引き”

コクリエーションとは、それぞれの想いやリソースを持ち寄って、それをもとに1つの結晶物を創る事だと思うが自分自身も含め、真に焦点を相手に向けられず、自分の活動や考えに誘導するようなふるまいをしてしまい、ジャズセッションになりきれなかった。
コクリ、あなどるべからず。しかし、なんとなく感覚をつかめそうな感じもあったので、挑戦し続けたい！

② 会の最初の本田さんのWelcomeで、学生として紹介してもらった時

③ 2に繋がるのですが、本田さんにWelcomeをして頂いた時、地域の未来は、自分たち若者が担っていくんだ若手の代表としてこの場にいた、責務があると思いました。

④ とりあえず、コクリキャンプに参加していた学生5人のメッセージグループを作りましたコクリキャンプの学生版とかできたらなと思っています。

⑤ 地域活動を面白がって取り組む若者が増えるための仕掛け作り

松井 朋子（まつい ともこ）

京都府府民生活部府民力推進課 協働コーディネーター/
京都まちづくりコーディネーターの会（京まちコ）メンバー

- ① ・「素直な気持ちで」自分の活動の根っこを知る（自覚する）ことができた場。
→正直知らない人だけ程よく安心だと感じている人が相手であったので、自分のバックグラウンドや見せ方、体裁を気にしないで「素直な」表現、想いが口からこぼれ出てきた。口から出て、あっ、そうそうこんな風に思っていたんだ、と自覚できた。
・全国にいるタネビストの熱を直接感じて、化学反応の可能性を感じた場。
自分から遠い席でも、会場のあちこちからの熱さが風に乗って伝わってきた。そういうのを感じると、思わず自分も熱くなり、テーブルでの発言も自然と熱を帯びていった。あちこちでコポコポと化学反応が起きているのが熱でわかるという初めての体験だった。
- ② 私の発した言葉が相手に熱として伝わった、相手の熱が私を熱くした！と感じた瞬間が私の感動になった。
いろいろな専門用語、業界用語、理論は確かに勉強になるとは思ったが、話をもっと聞きたいと感じたのは、タネビストとの直接の会話であった。
- ③ まちづくりに本気に関わっている、没頭していると時間に追われすぎて、これまで自分自身のことを振り返る機会が全くに近いぐらいなかった。だけどキャンプでは相手の問いを通して、自身を掘り下げる、振り返ることになり、恥ずかしいこと、反省点、驚きが山ほど出てきた。その中で、心と体は連動しているという自覚を持って、私の中にある熱い想いを絶やさない方法を考えることは、地元の仲間、コクリの仲間、全国のまだ見ぬタネビストにとっても、もしかしたら重要なことなのではないか、と考えるようになった。
楽しいと思えることを一生懸命やると、心の栄養にはなるけど確実に体は疲れている。そんなことも自分で何とかできないなんて、本当に恥ずかしい。



- ④ キャンプで教えていただいた参考文献や専門家さんとつながって、「心と体は連動しているという自覚を持って、熱い想いを絶やさない方法」を具体的に検討したい。その専門家さんがキャンプにいらっしまったようなのに、その方とお話しできなかったのがすごく残念！でもテーブルメンバーとはfacebookでつながったので、私のこれに関するアクションは見える化しようと思う。もちろん京都でも仲間と考える機会をもちたい。
- ⑤ 地元での活動を活発化することと、「心と体は連動しているという自覚を持って、熱い想いを絶やさない方法」の検討・実践、そして何よりも全国のタネビストの情報をいち早くキャッチしてその熱を感じながら、自身の活動の燃料にする！もし逆に、京都での活動に興味がある人があればどんどん紹介してください！京都府内の情報をどんどんとご紹介、またはお繋ぎします！そうやってお互いの熱を送り合う、そういう関係性ができていくといいですね。



松村 尚彦（まつむら なおひこ）

有田市役所 経営管理部 総務課長



- ① 「地域を想う方たちばかりで100%を占める」という日常からは想像もできない異空間でした。
「素直に自分の想いを打ち明けることができ、お互いの信頼感がグッと高まる」そんな体験をさせていただきました。
- ② 田坂先生の「目に見えない資本」についてのお言葉がとても印象に残っています。これまで私たちの先人が築いて下さった大切な日本人の素晴らしさが、少しずつ失われていくような気がしていたので、「目に見えない資本」の大切さをしっかりと受け継いでいきたいと強く感じました。
- ③ 参加者の皆さんが自ら率先して行動されているのを目の[★]当たりにし、改めて自分を振り返って、しっかり覚悟を決めて行動していきたいと思っています。
- ④ 大学の先生やA社の方とご一緒させていただいたので、執筆された本をぜひ読ませていただこうと思っています。市役所内における組織変革に取り組んでいるのですが、まだまだ課題は山積みです。
- ⑤ まずは、仲間づくりにむけて、一人ずつ1対1で、しっかりと相手に向き合いながら、信頼できる関係をつくっていきます。

望月 良男（もちづき よしお）

有田市長



- ① 日本全国の各地域で、楽しく生き生きとエネルギーに活動されている皆様に触れ、それぞれの活動に共感、共鳴し、自分自身の存在や活動に対する不安が消えていくような時間でした。
- ② 田坂先生の講演が、本当に素晴らしかった。（涙を流しながら感動していました）
〈成熟した人→目に見えないものが見えてくる（人の心やその場の空気…）〉
〈成熟した経済→目に見えない資本を大切に（知識、関係、信頼、評判、文化）〉
- ③ 自分自身の想いの変化するというより、整理された気がする。（益々頑張るぞっ！）
- ④ 既に先日22日、コクリ参加者であるA市の方が、観光振興課長さんと共に我がまちにお越し下さいまして、有田市の地域の未来を創るシンポにご参加いただきました。今後いいコラボが出来ればと思います。
- ⑤ 更にパワーアップをし、仲間を増やししながら現在のプロジェクトを推し進めたい

百枝 信二（もものえ しんじ）

野村證券株式会社 人材開発部長

- ① まさに“種火”を確認した場でした（今はまだ小さいけれど、“強い想い”を持って行動している方々と交流できたため）
- ② 阿部さん、柳澤さんのストーリーテリングです。
- ③ 想いがつよくなりました。今の立場で何ができるか？立場を超えて何ができるか？一生涯かけて何ができるか？を考えています。
- ④ A町長の家にお伺いする予定です。



藤井 薫（ふじい かおる）

リクルートホールディングス中長期戦略室エバンジェリスト兼Works編集企画

- ① 種火の内観と同志の外縁。自らの眠る“自分に何ができるか？”という問いが発露する良き機縁でした。
- ② 田坂さんの言霊
 - ・成熟した世界とは成熟した精神に満ちた世界つまり、目に見えないものが分かり合える世界。
 - ・すべての人の出逢いには意味がある。人生で起こる全てに意味がある
- ③ 人の可能性は∞であること。そして、課題は、人の可能性と人の可能性の間にあること。
その間を情報編集することが、長く情報編集を生業にしてきた自分の使命だと改めて思った。
- ④ テーブルセッションで一緒した方と、早速、Messengerで交信。
黄金の国ジパング化を推進するリミッター解除発信企画に向けて、ディスカッションの予定を設けました。
- ⑤ 人と人の可能性の発露・共進化に向けた情報編集・発信をしてゆきます。まずは5/29ワークスシンポジウムから。



森 成人（もり なるひと）

気仙沼市役所 震災復興支援チーム（経済同友会より出向）

- ① 自分が今、地域でやっている仕事の価値と魅力を説明できる要になった体験でした。
特にそう思えたのは田坂先生のお話、そして自分の今やっている仕事の棚卸の作業です。
今、仮設住宅で生活をしていて復興支援に関わる仕事をしてはいますが、民間企業にいる自分がこの経験を持ち帰る際の価値について悩んでおりました。
これをきっかけに少し頭を整理したいと思っております。
- ② 田坂先生のヘーゲルの弁証法について。
特にマネタリー経済とボランティア経済のくだりは自分のここ最近の悩みに
フィットしていて大変勉強になりました。
- ③ 自分と同じような仕事や考えを持った方がこれだけ多く[★]いるんだということ。
- ④ まずはいろんな地域に行きたい。
自分は被災地というすごく特殊な世界にいるため、平時の地域おこしを見たことがないため。
- ⑤ 今、自分がやっている仕事は地域におけるリーダー人材育成と産業活性化ですがまずはそれに今回学んだ考え方や
出会った方々との関係を活かしていければと思います。



保井 俊之 (やすい としゆき)

慶應義塾大学 大学院システムデザイン
マネジメント研究科 特別招聘教授



- ① 日ごろ研究している協創が、場の作用でどんどん生まれていくことが体感できました。それは、地域イノベーションの感度がとても高い100人超の実践者が魂の触れあう対話をしたからです。
- ② 対話の中で、隣り合わせた方の言葉です。
「じぶんではどうにもならない大きな力でつながりを断たれたあと、自分で少しずつ地域のつながりをつなげていきました。この作業こそが、わたしが地域でいきづく原動力になっているのです。つながりなおすことが自分自身と地域を大きく変えていくことになるのです。」
- ③ はい、自分がこれまでやってきたことが、間違っ★てはいなかったのだと、ゆっくりと確信につながっていきました。地域でのつながりはひとを幸せにしていくのだと。
- ④ 黒川、丹波、五城目など、キャンプで出あったタネピストたちとともに、地域のソーシャルなつながりが地域の何を未来に向けて変えていっているのか、見える化の学術的な旅に出たいと思います。そして、その旅はすでに始まっています。これから、そのたびはさらに加速されるでしょう。
- ⑤ 協創(コクリエーション)の学術的意義と、タネピストたちの実践をつなげていくことです。そのつながりの架け橋は、タネピストたちの火を確かなものにし、さらに明るいものにすると感じています。

谷内 博史 (やちひろふみ)

富山県氷見市企画振興部市民参加と協働・防災のデザイン課副主幹、
市民参加・ファシリテーション総括担当



① なんだか「懐かしい」感じでした。

青春時代を過ごした高校生の頃がまさにこんな感じで、いろんな才能が互いに咲き誇りながら、でも自己主張しすぎず互いに尊重しあって調和しているような雰囲気にも包まれていて、心地よかったです！

② 対話から協働の地域づくりやイノベーションを起こしていこうという方々の志がうずまいて炎の渦が立ち上がっていくイメージが常に視覚や聴覚にまとわりついていました。

人生の転機とも言えるような時期に、知り合ったり、一緒に活動した友人や同志のような人たち何人かとも再会できたのも嬉しかったのですが、さらに、そこに新たな縁を重ねる方と、初めてお会いしたのに実はいつからかぶりに再会しているかのような錯覚を覚えていました。

そんな時に、自分が歩んできた、選択してきた？いや、選択さえできずにそうせざるを得なかったと感じていたことに、突然、つながりや意味が生じてきて、点と点がつながって線になるような感覚を持ちました。ボブ・スティルガーさんと握手をさせていただいたときは、まさにそんな感覚でした。

③ 変化というよりは「確信」が強まりました。

自分の直感を信じていこうと、そこにもっとフォーカスしようと思いました。

④ 某NPOの方とは、氷見で漁業のこれから、魚食のこれからといったテーマで、対話の場をきつとつukっていいこうね、と話をしています。A社の方とは6年ぶりくらいに再会したのだけれど、話をしているうちになんだか沖縄に行かないきゃ、っていうサインがワクワクと出まくっています笑

小布施の若者会議をしている方、宮崎テゲテゲ通信さんのすばらしい笑顔には、「やっぱり若者の集いをつくろう！」と決意をさせてくれる何かがありました。ありがとうございました。

- ⑤ 今ここの持ち場で、じっくりと地に足をつけてタネビをちよろちよろ燃やすこと。
自分もこの地域への移住者なので、移住者の方々とのイノベティブな取組みを、地の人たちの応援も得ながら
すすめていけるような、そんな未来対話の場をつくっていきたいです。



山川 知則（やまかわ ともり）

株式会社文祥堂 CSR事業室

- ① 同志との非日常共通体験。
あの時同じ場で同じ空気を吸ってた人ということが、これから一緒に何かを創るにあたって大事だと思ったから。種火は共有できた！
- ② 対立物（ボランタリー経済とマネタリー経済）の相互浸透。
- ③ ・田坂先生の話で、自分は間違った方向に行っていないと勇気づけられた。
・自分たちだけで進めようとしていたプロジェクトにもっと仲間を募りたいと思うようになった。
- ④ A社の方と一緒に旅館に向けた家具シリーズを作る予定。
- ⑤ 引き続き、日本の森林の課題をビジネスを通して解決したい。



山北 和徳（やまきた かずのり）

経済産業省 商務流通保安グループ 中心市街地活性化室 室長補佐

- ① ●手っ取り早く良い人に会える良い空間（言葉は悪いですが、良い意味です！）。
 - 普段は良い人に会うための鉤脈探しに時間がかかりますが、時間がショートカットできた気がします。
- ② 最後のラウンドで1つのテーマで何かを絞り出そうとする時間が苦しくて良かったです！仕事とはちょっと違いましたが、もっとその場で産みの苦しみから何かが生み出せれば良かったというのは望みすぎですかね。あくまでもプロセスなのかなあ、とモヤモヤと考える機会を頂きました。
- ③ もっと外に出ないとダメだなあ、と改めて思いました。
- ④ ●自分が関わっている仕事为中心市街地から見たまちづくりをサポートということなので、具体的なプロジェクトを進めようと考えています。
 - その際に、必ずしも地域の人ではないし、タウンマネージャー等（というまちづくりをアドバイスして稼いでいる人）でも無い、企業のCSRや学生の取組と地域が緩やかな連携をすることで、地域の人が刺激を受け、企業はニーズを発掘し、学生は学ぶ、そんなことをやりたいと思っています。
 - まずは声をかけ始めています。
- ⑤ ●正直具体的には思いついていません。
 - ただ、悔しいですが、宮崎勢が魅力的だったので宮崎に行きたいと思います。



山田 崇（やまだ たかし）

塩尻商工会議所 地域コーディネート推進室 地域コーディネーター

- ① 「あっ、今日は休んでもいいんだ」「ゆっくりしよう」という声がかから出てきました。それは、全国にはこんなにもがんばってる若い人がいるんだから、自分だけががんばらなくてもいいんだ、なにか初めて会ったのに仲間・友達に再会したような心地よい空間でした。
- ② 「目に見えない経済」経済の成熟へ。ボランタリー経済と資本経済。対立物の相互浸透、互いが似てくる、融合へ
- ③ 「100年後の未来」のために、いま何ができるのかを考えるようになりました。行動をしなければ、なにも変わらないし、新しい未来は創造できないと感じています。わたしには仲間がいる、今回のコクリキャンプでの出来事を仲間に伝えることをして、自分の地域にコ・クリエーションを起こしたいと強く思うようになりました。
- ④ ・グループワークで一緒の席になったメンバー4人を中心に、同席させていただきましたA町長宅に集合して、全国から集まる“コクリ！飲み”の開催が決定！三田愛さんも参加表明いただいていますので、地域でのコクリ！を広めていく一歩にしたいです。
 - ・“長野版カマコンバレー”を8箇所同時開催を計画！
 - ・信州の自然豊かなフィールド（キャンプ場）で、“パクリ！キャンプin信州（笑）”を夏に開催！
- ⑤ コクリキャンプに参加して「若者を応援する大人日本代表になる」という思いが強くなりました。未来を予測しつつ、小さく行動をして、検証して、行動して、と、予測した未来へ一歩ずつ近づいていく行動をします。



山本 恵果（やまもと けいか）

京都市山科区役所地域力推進室 企画係長
京都まちづくりコ-ディネ-タ-の会



- ① 「火」をつけるきっかけとなった場。具体的な行動を起こすまでには至らなかったけど、あれだけ熱を持った多くの人が集まる場にいるだけで、何かをしたい、何かをしなくては、という気持ちになった。熱は伝播するのだな、と思った。
- ② 「見えない価値」を可視化する。自分たちがしていることに「価値」をきちんと与えること、それを周りに伝えることが大事なのだと感じた。
- ③ 自分自身も「勢い」と「熱」を持つこと。これまで、プレイヤーになるべき人いかに行動を起こしてもらおうかと中心に考えていたが、自分自身が、前に進むための「勢い」や「熱」を持つことがまず大事だと感じた。
★
- ④ 残念ながら、ありません。
- ⑤ 1：コクリ！キャンプと同種の場づくりをしているが、その仕掛けを少し考えてみたい。今は、つながる場としての位置づけを強く打ち出しているが、そこから一步前(活動)に進むための仕組みを考えたい。仲間や共感者を作ることは、もちろん大前提なので、そこは大事にしつつも、それだけでなく一步前に進むための後押しができるような仕組みを考えたい。
2：現在、京都で行っている京町家での活動を「可視化」したい。「丁寧に生活する」ことを、昔から行われている京町家での暮らしを通じて、考えてもらう企画を行っているが、企画に参加された人以外に、京町家での空気感などを伝えることは本当に難しい。自分たちの行っていることを目に見えない「価値」を「可視化」するための取組を考えたい。

横田 親（よこた いたる）

丹波市議会議員



- ① 自分が種火のひとつとして、全国の素晴らしい仲間と語るものがある仲間と言えるまでの成長を重ねてくれたことを確認でき、大きな自信が生まれました。
小さな火種だった自分が、もうひとつ燃えることに迷いがなくなった感じですね。それは集まった仲間の人たちが素晴らしかったため、この場所に呼んでいただけしたこと自体が光栄であり、また数少なくきちんと語り合えた人たちがもれなく素晴らしい人たちだったからです。
- ② 田坂先生の、歴史は必ず成長しながら同じところに戻る、螺旋を描きながら進む、という言葉。それは宇宙に浮かぶ僕らが太陽の周りを回る動きと同じだから、びっくりして感動したんです。
- ③ より前に進んだという感じです。いわゆる「偶然というものがない」という想いに確信を、さらにさらに明確に持つことになった、ということです。
この気持ちは、常識的な感覚だとなかなか理解されないことも多いわけですが、僕のなかでは明確です。それをもち得る仲間が、あんなにいてくれたってことが本当に嬉しくて、心強かったわけです。
- ④ A先生とアポイント：東京で2月24日にお会いしました → 今度は丹波で再会予定&新しい研究対象として加えて頂く予定です。地元銀行とアポイントも予定しています。
B社の方とアポイント：東京で2月24日にB社でお会いしました → 丹波市議会でB社本部を視察予定です
C社の方とアポイント：東京で2月24日にC社でお会いしました → 5月に丹波市で再会予定です
B社の事業を絡め、ゲストハウス事業とインバウンド事業をご一緒頂く予定です
田坂先生と一杯飲み：三田さんと柳澤さんとの4人飲みを予定 まずは調整します
じゃらんリサーチセンターDさんが来丹予定：インバウンドの推進に向けて丹波市にお招きする予定をお願いしました。4月ごろと思われる、丹波市のキーマンとの少人数MTGを楽しみにしています。
- ⑤ ラボメンバー入りさせていただきたいです。いや、もう、してます。そしてメンバーにもいろいろと価値を提供していきたいと思います。タネビスト連携の事例をすぐ生みだし、皆様に紹介していきます。

吉田 恵美子（よしだ えみこ）

いわきおてんとSUN企業組合 代表理事／NPO法人ザ・ピープル 理事長

- ① 炎の揺らぎオブジェのある空間で、震災以降の思いを口にすると、こみ上げるものがあまりに多くて困るほどでした。聞いてもらえること、そして共感してもらえることがこれほど心地よいものだと、今まで気づきませんでした。
それは、同じ思いを抱く人たちと出会っているのだという感覚があったからなのでしょう。震災後の体験の特異性に目をとられがちな自分にもっと広く仲間を見いだせることの気づきを与えてくれたひと時でした。
- ② 田坂さんのお話にはたくさんの刺激をいただきました。
特に、「全ての出会いには意味が有る」とおっしゃられた言葉は、まさにこのキャンプに向かうにあたって自分自身が書かせていただいていた言葉でもあったので、同じ思いを抱いていることに感激しました。
- ③ 自分の持っている使命感というようなものを、タネビストの誰もが抱いていることを確認できたこと。
- ④ まだ、具体的には動いていません。
- ⑤ 思いを同じくする人とのつながりづくり…どう取り組むかはまだまだ不明確ですが。



吉田 照幸（よしだ てるゆき）

NHKエンタ-プライズ エグゼクティブ・プロデューサー

- ① 日本には、こんなに熱く自分の道を進んでいる人がいるんだ！と肌で認識した場でした。
- ② 結構みなさん本音を語られていました。日本人も場さえ整えば、そうなるんだとびっくりしました。ただみなさんと話す時間は短かったので、最も印象に残っちゃったのは、田坂さんの基調講演での「たまたま」や「らせん」のお話でした。
- ③ 一番変わったのは、こういう交流会的なものに懐疑的（本当は苦手）出席しなかったのですが、やり方、出席者の選択によっては、とても意味があるかもと思い直しました。
- ④ 私からのアクションではありませんが、A社の方から、沖縄映画祭の審査員の依頼を受けました。大きなイベントを地方に持って行くことは、東京と地方のつながりだけでなく、その地方の人々同士のつながりを生む場だなと今さらながら気づきました。
- ⑤ 東京でやるようなイベントを、地方に持っていく。



吉田 穂波（よしだ ほなみ）

国立保健医療科学院 生涯健康研究部 主任研究官



- ① 交流、顔の見える関係、ファシリテーション、グループワークなど、今までその大事さは知っていたものの、参加者がすごく刺激的な方々だと、今まで以上に大きな化学反応が起こる、ということを実感しました。最初のグループ分けは事務局の方の恣意があったかもしれませんが、その後、共通点を持つ人とグループを作る場では自然発生的なグループが出来、その中の盛り上がり面白かったです。
- ② 最初のグループで、ペアで行うインタビューの問い（初めて魅力を感じたのはどんな時？楽しかったこと、印象に残っているエピソードは？何に突き動かされて？悩んでいること、など）が、非常に良かったです。ペアワークの良さは知って、使っていましたが、「**良い問いを発すること**」の重要性の効果の大きさを、改めて実感する機会となりました。
- ③ 自分が手掛ける講演やセミナー等、それまでも、出来るだけインタラクティブで参加型にしようと心がけていましたが、あらためて、参加者を巻き込む場作りの方法や手段、参加者の気持ちを体験することが出来、自信が深まりました。また、もっと広い世界の人々と繋がっていきたい、繋がれば何かが出来ると思いました。近視眼的な思考を広げてもらえたという変化が起きました。
- ④ 災害時に次世代を守ることにについて、当日お話ししたA市の方に関心を持っていただきました。今後、私の方から提供できるものを色々とお出しし、コラボできたらいいなと考えています。
- ⑤ コラボレーション、クリエイティビティ、コミュニケーションの重要性、ノウハウ、体験、そして、成功事例をもっと増やし、広めていきたいです。また、コラボレーションに必要な「受援力」の具体的なスキルを体系化したいです。

渡邊 太志（わたなべ ふとし）

九州旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 営業部 担当部長

- ① 日常の感覚を持った皆様が集いあうことによる「非日常の体験」
こんなにとくさんの皆さまが、普段から問題意識・変化を求めていることを実感したから。
- ② ・田坂広志さんの「未来は作れないが予見することはできる。」
「古くて懐かしいものが復活している。」「先輩に受けた恩は後輩に返せ。」
「ボランティア経済」「信頼資本、評判資本、文化資本」
「日本経済= 三方良し、志、世のため・人のため」
「すべての人の出会いに意味がある。」などなど素晴らしい数々のお話いっぱいメモしました。
 - ・Aさんの「47都道府県それぞれに素晴らしい。だから日本は素晴らしい。」
 - ・Bさんの「みんな、誰かの宝物。」
 - ・Cさんの「第一次産業の大切さ。」
 - ・Dさんの「頼まれたらやる。」「情けは人の為ならず。」などなど
- ③ 毎日たくさんの人と接している普段の生活なのに「人の思いを聴く事」が少ないことに気づきました。
もっと人の話や考えを聴かなければいけないと思いました。
- ④ Eさんのプランによる京都視察体験ツアーに(時間が合えば)参加したいです。
- ⑤ 私の場合、仕事を通じて、人とたくさん接するので、(地域の方を含め)いろいろな業種の方と対話をもっと深めていこうと思っています。やはりお互いが訪問しあうのが良いですね。



坂本 里和（さかもと りわ）

経済産業省 中小企業庁 創業・新事業促進課長

- ① 「想い」に共感できる素敵な人たちと出会いと学びの体験でした。
三田さん、本当にありがとうございました！
- ② 某自治体の首長の言葉
「観光客の購買単価を上げることより、本当に地域のことを好きになって、
また来たいと思ってもらえることの方が大切」にとっても感動しました。
「地域活性化」って本当はこういうことだな～って。
グローバル企業から地方に移って起業した若い起業家が
「地方にはビジネスチャンスがたくさんある。今の生活がとても楽しい。」と
おっしゃった時の爽やかな笑顔が印象的でした。★
- ③ 「コクリ」の力を改めて実感し、行政の施策を企画・実施するプロセスも、本当はこうでなくっちゃな～と
思いました。審議会を「コクリ」化??
- ④ 今回の出会いを大切に、FBとかでkeep in touchしていきます。
- ⑤ まずは、目の前の「地域資源を活用した“ふるさと名物応援”」の取り組みに精を出したいと思います。



藤原 正賢（ふじわら まさたか）

慶応義塾大学総合政策学部2年

①一言であらわすと「つながる」場でした。

新しい出会いやいつか出会えるんじゃないかと思っていたような素敵な人たちと関係性を築くことができたこと、田坂さんの話や阿部さん、柳澤さんのストーリーテリングから自分のなかで、点と点がつながっていたような感覚があったり、自分の根っこの思いとつながり、今の立ち位置やあり方がみえてきました。

②・最初に7人で円になって座ったときの安心感と、会場の非日常感。

・田坂さんの「成熟した精神は目に見えないものがみえる」といった、今の地域での動きを言語化してくださったこと。

・印象的だったのは、柳澤さんと阿部さんの中のストーリーの違い。

特に柳澤さんの「楽しいからやっている」という話では本当の意味で根っこの思いというか、自分の中での大事にしたいことについて改めて感じましたと思っています。

・インタビューワークの時の相手の表情が変わった瞬間



・懇親会でのA町の町長とBさんとの会話（次に町長の家で、今日のグループでまた話し合おう！ということ）

③・場の可能性 ー根っこの思いを共有することで、人はこんなに繋がれるということを知った。

・「多様性」の重要さ ー普段出会わないような人とのたくさんの出会いがあり、沢山の出会いが生まれた

・現実を動かすことの難しさ ーもっともっとアイデアのこと、最初の一步のことについてみんなと話したかったです。ただ、このモヤモヤを持ち帰れたことは、「また話そう」につながり、とってもよかったです。

・「コークリエーション」という自分の大切にしたい考え方を実感 ーこういう世界を大事にしたいんだ、ということを経験から感じることができました。このエネルギーをもとにすすんでいきたいです。

④・Cさん達とキャンプ・Dさんと話す（長野で一緒にワークショップ等やりたい!）

⑤ 1.恵比寿ガーデンホールでの信州若者1000人会議の実施。

ーコークリエーションの波を信州出身の大学生・若手社会人にも広げられるようにしたい。

2.1年間の休学をし、地域の「産業」や現実を動かすための策を学びながら、たくさんの人と創り出していくこと

ー沢山の「地域」とつながりを持ちながら活動している実践者に会えて、自分もこのフィールドで、

たくさんの人と創り出していきたいと感じた。今年1年はそのことに集中したい。



阿部 裕志 (あべ ひろし)

株式会社巡の環 代表取締役



①自分の歩もうとしている道に対して、このまま進めばいいんだという肯定感が芽生えた。

■理由

田坂さんのお話と、それに対する共感する方の多さ。

また、自分のプレゼンに対して共感してくださる方が多くいたこと。

参加者は単なる聴衆ではなく、第一線で活躍されている実践者であるからこそ。

②田坂さんのお話。「成熟した資本主義とは、成熟した精神と同じ。

目に見えない価値をも、価値だと評価できる社会のあり方ではないか。」

③成熟した資本主義という言葉を自分の言葉として使いこなせそうになっている。成熟した資本主義に必要な大切な 価値が、海士町で日々自分が大切にしたいと思[★]っている価値と同じであると思えた。だからこそ、これまでの自分たちのやってきたことを認め、それをコクリ！キャンプの参加者たちとも手を携えながら広げていき、これからの社会にインパクトを出したいと思えた。

④まだすぐにはないが、次にきっかけがあれば、何か始められると思う。

⑤都会から遠く離れているからこそまだ残っている、日本に古くから根付いている人と人が共存し、自然と共に生きていく知恵や価値を言語化したり体感できるようにして、海士町で島外から参加していただく学びの場を様々な手段で設け、日本全体や世界に広げていく。

藤井 麗美 (ふじい れみ)

観光業・代表

- ①歴史上でも類のない変革の求められる時代にあり、地球や人類の種の存続にかかわるようなパラダイムシフトの中にあるから、人類がいまここで何をすることが問われるなあと思っていたところ、みんな同じような考えがあり行動しているんだ！という仲間感や心強さを得た。
- ②田坂さん：利益を数値ではかるだけのものではなく、ボランタリー経済が存在する。目に見えないシステムも含めて「経済」である。同じように、貨幣のみでないリソースもある。知識資本／信頼資本／評判資本／文化資本など。ボランタリー経済とマネタリー経済の融合はできる。「創発」は理論ではない、人との出会いでそこに何かが生まれる。
ヤナサワさん：ボランタリー経済は、評価から解放されているところがいい。
カマコンバレーは「涙を流すくらい楽しいことが月に三回くらいある」
りょうさんチーム：火種に風を送るのが得意な役割もある
- ③世の中がよい方向に変わっていった、という希望を獲得しました。
リーダーとして母として選択に悩むことが多いですが、自分のぼんやり考えていたパラダイムシフトもリーダーシップも、その流れの中にあるので、「この方向で大丈夫」と確信を得ました。
- ④・4月に鎌倉に越すので、カマコンバレーに参加し楽しく社会課題を解決しながら暮らす。
 - ・水道橋駅前のオフィスの2室（キッチンつき）を、場としてギフトエコノミーに出す。
具体的にはタネビストの方々や、自分が社会変革のレバレッジになる、と信じているムーブメント（NVCなど）に限定し提供。その中で、どんな社会関係資本がまわるのかを1年ほど実験。
 - ・その社会実験の中で会う人々と、（自社）ビルをアーバンパーマカルチャー化していく。（参考：ソーヤー海）



- ⑤ 1) ピースフルスクールやNVCの学びを子供たちの教育に入れたい。と考えはじめています。
生きづらさの8割以上が他人との関係性構築にあると考えているので。
- 2) 自分が使える不動産を、変革のための母胎にする。
- 3) 平和や変革を促進する「広告代理店」のような人で在ること。ゆくゆくは組織にできたらいいな。



農業法人 代表取締役

匿名

- ① 『新たな発見』が生まれたキャンプでした。
色んな分野で活躍される方々とお話することで、違う視点からの物の見方などを知ることができたから。
- ② 「マネタリー経済」 & 「ボランタリー経済」
- ③ 色んな立ち位置で色んな分野で頑張っている方々の視点でのお話を聞いたことで、
「豊かな国の定義」を改めて考え、自分の中での定義を再認識できたので、その定義に基づき、
直接的ではないにしても、豊かな国の未来を目指して、小さな一歩を踏み出したいと思いました。
- ④ これから考えます！
- ⑤ 農を舞台に、安心な食卓と生き生きと働くことができる未来を目指して、今やっている取り組みを頑張っていこう
と思っています。

匿名

官僚

- ①お話をさせていただいた方々から新たな発見をしつつ、
また「想い」を口にすることで自分の中の新たな発見をするという貴重な体験でした。
- ③皆さんからいただいた刺激が、自分の中の何かに作用したんだと思います。発見はしましたが、特に変化は起きていません。地域のために、これからもまっすぐ進んでいこうと思います。
- ④A県を盛り上げる新たな取組を始めよう、ということが班内で決まりました。（あまり具体的などころまでは時間不足でしたが..）
- ⑤いろいろな地域のいろいろな方が、それぞれの「想い」を持ってアクションされていることを再確認しました。こういった「想い」を持ったいろんな「顔」をイメージしながら、地域に転がっている課題や障害にひとつひとつ正面から向き合っていきたいと思います。



匿名

接客サービス部・リーダー

- ① 焚き木をたくさん手に入れることができた。自分の中で火が大きくなったと感じたから。
- ② 言ってみる、やってみる、妄想が大事！
- ③ 自分自身が楽しんで、おもしろい地域《場》を作りたいと感じ、そのために力を付けなければいけないと思った。力とは、提案力だったり、情報を取りに行く行動だったりと様々ある。
- ④ アイデアの段階ですが、全国のタネビストに那須に来てもらう。
- ⑤ 本業である旅館業に通じるような企画を出していきたい！



匿名

株式会社リクル-トライフスタイル

- ① 垣根を越えたひとりひとりの想いの繋がりや、大きな変革の可能性を生むと感じた普段は競合と呼ばれる方とも未来の語らいが出来たから
- ② 正反合の考え方の大切さを改めて感じた
- ③ ボランタリィ経済の活性化
人々が、善意や好意など、自らの自発的意志によって行う経済活動という考え方が新しかった

匿名

慶應義塾大学 学生

- ① コクリキャンプは、自分にとって、「コクリエーションの必要性と可能性を改めて実感した場所」でした。参加者の方々とお話をさせて頂き、個人の事を見つめ直したり、一緒に問題を解決していこうと考えて行く中で、その改題に取り組む姿勢や熱量を実感し、この輪をより多くの人に広めて行く事が必要だと思いました。
- ② 田坂教授の「事物の螺旋的発展」という話は非常に印象的でした。「事物の螺旋的発展」の考え方は、冒頭の基調講演の際にお話頂いた後のワークショップでも議論になり、この考え方を念頭にワークショップを考えていました。
- ③ 私自身、**という「自分のやりたい事」でつながる輪を目指して行こう！団体を最近立ち上げたのですが、このコクリキャンプを通じて、コクリエーションの必要性を実感したので、力を入れてこの流れを自分たちの団体でも起こして行けたらと改めて強く思いました。
- ④ 予定は特にはないです。
- ⑤ 「コクリエーション」、「自分らしく働く」という事を広めて行く活動を自身の**という団体やまた外部の団体を通じて、拡げて行きたいと思います。

匿名

慶應義塾大学 学生

- ① 安心感のある家に戻って、暖かいスープを飲んだような力漲った体験だった。資本主義や他人との関わりに疲れを感じていた頃に参加し、田坂さんの話やストーリーテリングでのやり取りに暖かみと自分自身がやってきた過去に確信を得ることができたから。
- ② 変化は螺旋状であること。目に見えない価値を読み取ること。
リクルートライフスタイルの社長の方と同じグループになったのですが、社としてこの活動を暖かく見守る話を聞いたこと。
- ③ 変化は起きました。目に見えない価値をつくりだすことに自信をもつことができ、身の周りの方との関係性を見直すようになった。特に、現在やっているコミュニティづくりが、今後の社会の在り方に影響する取り組みになると感じた。自分自身で"ボランタリー経済"を生み出していくという覚悟ができた。
- ④ ・ 同じ慶應であるA先生、B先生などと協力し、大学機関の持つ研究や学生と地域を結びつけていきたい
・ 一方的ですが、海士町の阿部さんの「島は宝の山」という想いに共感し、現在取り組んでる群馬県の南牧村での地域大学づくりの横連携をしたいと考えている
・ Pay forwardという価値観、また「人とのつながり」の価値を広めていくこと。
・ 愛さんが準備していた「コクリ!キャンプ」を仲間として、一緒に広めていくことを考えたいです。
・ 現在二つのコミュニティを運営しているのですが、そこでコクリ!キャンプを実施したいのと、ゆるやかだが火がつく関係性の土壌を耕していきたいと思っています。

匿名

金融

- ① 改めて自分の根っこを再確認できたと共に、今後もいろいろとお話したい方とであえたこと。
- ② 根っ子を探る作業を人とやることで初対面の人であっても、短時間であっても、絆をつくりやすかったこと。
- ③ はじめて、このようなワークショップに参加したのですが、とても地域の方たちのエネルギーのベクトルをそろえるために、有効な手法だと感じました。
- ④ 仕事でお手伝いしている地域で、ベクトルがいまいち揃っていかなくてもったいないなーと思っているところがあれば、ご紹介したいと思いました。
- ⑤ 自分はタネビストでもありたいと思いつつ、一番の今の仕事は、タネビを扇ぎ、回りを巻き込み大きい炎にしつつ、火を消えないようにする役割だと思っ★ています。
全国に素敵なタネビストがたくさんいることが分かったので、いっそう、がんばりたいと思います。

匿名

企業

- ① 八百万の神さまたちがふわふわと集った会。
- ② 田坂さんが本業を通して社会貢献するというお話。徹底的にシャワーのようにその言葉を伝えてもらったので勇気づけられました。日本人は（日本のよさは）ねんごろになっちゃうことという参加者から頂いた言葉。
- ③ 事業を通じて社会貢献するんだ、日本人にとってはそれが当たり前なんだという初心を取り戻すことができました。
- ④ 久しぶりのメンバーと再会したのでまずはしっぽりとざっくばらんに飲みに行く予定です。
- ⑤ “社会貢献”を強く意図した事業に本気で取り組む。カマコンバレーをさらに発展させ、各地域との連携を進めていく。

匿名

地方自治体

- ① 世界観が違う人との貴重な出会いの場でした・・・

田坂教授の講演や色々な方々のお話を聞いたり話したりし、改めて狭い世界しか知り得ていないのだと感じました。

- ② やはり田坂教授の、貨幣経済：マネタリー経済(マネーエコノミー)と奉仕経済；ボランタリー経済(ボランタリーエコノミー)の融合(シンクロ)、ヘーゲルの弁証法(螺旋的発展)など、納得のいくお話で、これからその部分をどうしていけば良いかを考えさせられました。

特に、ボランタリー経済の重要性に惹かれましたね・・・身近な課題として・・・

- ③ 本当に純粋にその地域をこよなく愛している方が多いんだなと感じました。

何かの義務感や希望・要求心で動いているのではなく、★その地域や人に何かを求める訳でもなく・・・

自分自身が、その地で何が出来るのかを考え行動に移し、それが、その地域の人々に自然と伝播して共創に繋がって行っているのだろうなって感じさせられました。これから取り組もうとしている、公務員意識の改革や地域変革など推し進めていく際、是非、気をつけていき取り入れたい考え方だと感じております。

これまで生きてきた、私自身に持ち合わせていなかった部分・考え方なのかもしれません。勉強になりました。

- ④ 今回の参加者(取り急ぎ、キャンプで知りあった方々)と情報交換をおこない、そして、その地域に実際に出向き、五感で感じてくることが出来れば・・・と思っておりますが、この考え方の切っ掛けを与えてくれたのが、A市の市職員さんでした・・・2.17のコクリ!キャンプで情報を得た某職員が、2.22に有田市で開催するいろんな地域の方を巻き込んだイベント設計のモデルづくり事業について是非、視察したいと・・・しかも、個人的に・・・折角のこのような機会を逃したくなく即決した

- ⑤ 上記質問4にも記載のとおり、こんな人達がいることを伝えていきたい・・・伝える役割を私自身がやっていかなければならないと感じております。

匿名

医療

① 静かで熱い体験

- ・・・ばか騒ぎするような熱さをもった人でなく、ひとつひとつを丁寧に紡ぎあげている実践家同士が本質的な対話を交わすことができる場であったから
当日は体調が悪く、エネルギーが落ちていたが、たくさんの心地よい元気をいただいた

② 最後のグループダイアログでの言葉（みんなの中から自然と湧き上がってきたことば）

- ・・・地域を活性する、地方に行くメリット、ではなくその人がその人らしくいられる場所
どこにあるか？が先
ただし、それは経験してみても初めて分かることもあり、その場へどのようなきっかけで
つながれるか？がテーマ



③ 自分の見ている領域がだんだんと狭くなっていると感じた。さまざまな領域での実践家から学ぶことや つながってうみだされることも大事とあらためて気づかされた。

④ ・Aさんとの情報交換

- ・Bさんの農園見学（農業体験）

⑤ 現活動の輪・同志をさらに広げていく



コクリ!キャンプ

未来コ・クリエーションサミット

匿名

企業

- ① 新たな価値、ムーブメントを共に育てうねりを作る場。
ポジティブに世の中を変えたいと思う人達（表立って表れている人もいれば、自分の中でだけにとどめている人もいる）、そして多種多様な経験、価値観、立場の人達が集まり、お互いを理解しながら、どうなるといいのかを話しそれを次の行動につなげていくので。
- ② 螺旋的發展
- ③ 現状も世の中をポジティブな方向へ変えたいと思い行動しているので、今回がきっかけに行動が変わったということはありません。ただ、多種多様な仲間がいることは分かりましたし、点在しているこれらの方々をつなげることで変化は加速していくはずとの具体的なイメージはよりわきました。
- ④ 現状のところは特にありません。今やっていることをとにかく早く大きくやるだけです。
(それだけで手一杯なので)
- ⑤ 現状の動きを加速させます。また、その動きをより効果的にするために、どこかで今回であった方々とコラボレーションできればと思っています。

匿名

NPO

- ① 自分のやってきた軌跡（歩いてきた道）を見せてくれた。
多くの先人たちの経験を聴かせていただく中で気づかせてもらいました。
- ② 今一番会いたかったAさんの笑顔と体験談を聴かせていただいたこと。
- ③ やっていることの整理ができたことと確信を持てたことが大きかったです。
活動が根っこの部分で見えない部分でもあるのでより構造化、可視化をしていきたいと思いました。
- ④ 田坂さんを**にお呼びして「目に見えない資本主義」を地域に知ってもらいたいと思いました。（勝手に思っている段階です）
- ⑤ NPO法人が持続可能な活動ができるようにボランティア★経済と貨幣経済の融合で循環を創っていきたくと思っています。

匿名

官僚

- ① 自分の進むべき道を問い直すきっかけになった場。これまで出会ったことのない分野の方々とお話して、大いに刺激を受けたから。
- ② そもそも「タネビスト」という言葉。種火を起こすのが一番難しい。
でもそれが起これば、じんわりと広がっていく。
会場の空気から、参加者それぞれが「タネビスト」として進んでいこう、という気持ちになっていたことがわかり、素晴らしいと感じました。
- ③ やれることを地道にやっていくこと、続けていくことが大事であるというのを再認識しました。
- ④ 「チーム地遊人」の皆さんと、また議論できればと思います。
- ⑤ シゴトの延長線ではありますが、日本の一次産業の応援団を1人でも増やせるように、生産現場と消費者をつなぐ活動を広げたい。

匿名

官僚

① 未知との遭遇。

実際は人と宇宙人ほどの違いはありませんでしたが、私のよく知らない分野、場所、目的で熱心に活動されている方がたくさんいることを改めて知りました。

② 認知症の研究をされている方への質問で、

なぜ近年社会的課題になったのか？長寿になったからなのか？との当方の問に対し、「長寿になったこともあるが、社会が複雑になったこともある。

シンプルな作業だけならば加齢してもこなせることが多い。」との回答。

意識してなかったけど、確かに世の中は複雑化していると再認識するとともに、複雑過ぎはしないかとの問題意識も生まれました。★

③ 途中から、宗教とモチベーションの関係を考え始めました。

というのも、前向きで明るく情熱的で、明確な問題意識をお持ちの方が多かったので、宗教や自己啓発セミナーにいるような錯覚に陥りました（実際行ったことはありませんが）。

コクリ！も宗教もいい意味で同根なのではないかと思いました。

⑤ 大手流通小売の部長が「我々は地域に大きな花火を上げることはできる。でも、花火は打ち上げればそれで終わり。

地域を持続的に活性化させていくためには、地域のやる気が欠かせない。」と言っていました、国のやれることも似ています。モデル性のある取り組みを支援することはできても、持続させたり、横展開するためには、地域のやる気が必要。日本中にやる気を伴ったきっかけを作り続けます。

匿名

企業

- ① 新しい考え方を知ることができました。
- ② 面白法人カヤックの柳澤さんのお話が印象的でした。
「面白いから、それだけ」みたいな内容だったと思うのですが、地域の課題解決ということを考えると、そうあるべきなんだろうなあ、と思いました。
- ③ イベントの方法について考えました。
一般向けでなく、関係者の方だけを呼んだプレゼンや、記者会見などは、弊社でもよく開催されていますが、あのしつらえはなかなか思いつかないな、と感じました。
- ④ A社の方と今週、お会いして、弊社本社を見学してもらい、何かおもしろいことができないかお話する予定です。
- ⑤ まだ模索中です。



匿名

- ① 新鮮な体験。それぞれが心の中に持っているタネビに火がつき、大きな火になるという感覚が自分でも感じたから。
- ② 今のままでいいんじゃないですか？
(ペアでお互いの話をした時に、私の話を聞いてくれた方がおっしゃった言葉)
- ③ 自分のタネビを大事にしようという気持ちが強くなりました
(周りのタネビを大きくしたいと思うなら、まずは自分のタネビが大きくなければと。)
- ④ 特にはないです。
- ⑤ 自分の日頃の立ち居振る舞いとして、周りのタネビをオキビにできるような、話し方・接し方をしたい。

匿名

① 刺激の場でした。

個人としての利害を超え、社会に向き合う方々がこれほど多いのかということに勇気付けられました。

② 後半のセッションにおいて

「**さん（ニックネーム）は、人の居場所を作ってあげて後押しができる人ですね」

と頂いたコメントは自分の持ち味を再確認できました。

③ 改めてということはありませんでしたが、自身の行っている方向性への確信がもてました。

④ これ以上アクションを増やすと自身の限界を超えることが見えているので、むしろ抑えています。

⑤ 引き続き、東北復興を通じた地域社会の活性化モデル創造 そして、雇用領域における一極集中の流れの改革



匿名

① 今まで、似たような場には何度か参加してきたと思います。

その中でも、抽象性と思想性は比較的、高かったと思いました。

② 田坂先生の講演で、今までも考えて実践してきたことでしたが、「経済性とボランタリー性の両立」については、改めてしっかり考えて実践していきたいと思いました。^^

③ 従前から考えているテーマも多く絡むので、あの場のみで変化、ということとは

特にはないかなあと思います。上記のとおり、田坂先生の経済性とボランタリー性の両立については、そこに対してもっと考えていこうと思います。

④ コクリキャンプでの出会いに限定した場合、今のところ、具体的なものはありません。

⑤ 地域や産業の活性化に、中長期で役立つこと、しかも、ある程度のスケラビリティを持って活性化にしっかり影響できるようなプラットフォームを作りたいと思います。

匿名

- ① 各地で活動されている方々、それぞれ立場や育ち、生まれ持ったものが違う
このバラバラな感じが何とも目新しくも心地よい場でありました。
- ② あるシーンを限定してと言うよりも全体としてそれぞれの活動やその根底にあるものを
認める（認め合う）というのは印象深かった。
- ③ 正直に言えば、大きな変化は無かった。ただそれはこの会自体よりも、
自信の企業人としての環境が開催当日のAMに変化する事が判った為、おおよそ全ての
プログラムにおいて、現業との接合点が変わるなぁと思いながら参加したためである。
- ④ 今のところありません。
- ⑤ これまでは（これまでも）会社、事業を通じての取組みが主たる活動でした。
その範囲が国内だけでなく海外にも広がる事で、現業に活かせる知見が広がる事が予想されます。
もちろん、各国の文化や規制等、異なる点多々あるとは思いますが

匿名

① 感情がわさわさ揺さぶられる体験でした。

火おこし通信が来始めてから、キャンプ準備が始まり、当日が楽しみがマックス高まってましたが当日は、予想をはるかに超えて、こんなにたくさん情熱のある人が世の中にはいるんや、情熱って、ほんまに人の心を動かすんや、と思ったからです。

② 田坂先生の、ひよんなこと、たまたま、から人生は導かれる。ヘーゲルの引用。

愛ちゃんの、地殻変動の始まり、やなさわさんの、楽しいのっていいじゃないですか、あべさんの、地方は宝の山！

③ 変化といえば、より、わたしも人と人をつなぐ場づくりがしたいと次の日から始めたこと。

しかも丁寧におもてなしする心をもって。



日本を変えたい、未来を創りたいって、照れずに言ってもいいんやと、これまでより、濃く伝えようと思ったこと身近な人を大事にしたいと思ったこと。仲間がいなくては始まらないから。

④ おもてなし大使のAさんのもとで、まずは座禅集会からです。

⑤ これまで自身でやってきた取り組みの強化。

化学反応の起きそうな人たちが出会える心地よい場づくりをする。

未来を創る子どもたちと、共にテレビ番組をコクリする。

タネビストのおもしろい取り組みを取材というかたちで共に番組を創る。など。

このチェックアウトにいたるまでの全ての準備に、こころからのリスペクトです。

匿名

- ① 職業、役割、立ち位置の違う人たちに出会い、お互いを触発できる場
- ② コミュニティに変化を起こすアイデアがたくさん生まれてくる町にしたい。
でも何かに制約されていて住民からアイデアが生まれてこない。それを解き放つにはどうしたらよいのかが分からない。
- ③ 将来の自身の仕事としての有り様。観光を起点とした地域の魅力活性化、訪れる観光客の拡大を支援する仕事を考えてみたい
- ④ 特にはないが、個人的に一度、参加しておられたA県の観光協会の方を訪ねてみたい
- ⑤ 関わっている経済団体の活動である観光立国での議論と今回の取り組みをうまくつなげていきたい



匿名

- ① 私自身の人生の今後の10年に影響を与えるきっかけとなりました。
なぜかという、うすらぼんやり自分が今後手がけていくことがビジョンとしてみえたのですが、その完成のためには相当の時間を要するなと感じているためです。
- ② 海士町の漁師さんの「誰よりも早く出てきてお茶を入れている」という言葉です。
- ③ 自分が人と接する時に特定の状況に陥った時に偏った態度をもっていることに気づきました。
- ④ 一人でも多くの人が自分の本質に気づけるような仕組みを作りたいなというビジョンが生まれました。まだ、具体的に何をどうするのかは見えていません。
- ⑤ 置かれたところで、咲ける自分であり続けたいと思います。

匿名

- ① 反省。クリエイターからの発信が少なすぎて、
本当にやりたいことが地域にも行政にも企業にもまったく届いてない。
クリエイターが「仕事」しすぎなんだな、と強く感じました。
- ② ボランタリー経済。贈与経済。
正直にお伝えすると、この概念や言葉を「新しい」と感じるんだということに
びっくりしました。僕らの世代、特にクリエイター系だとわりと普通...? という感覚で、
だからこそ黒川プロジェクトに迷いなく参加出来ている、と思ったというのが本音です。
- ③ クリエイターのモチベーションやニーズ（特に若い方）を皆さん、あまりご存知ないのだなと再認識しました。
特に行政・企業の方については、既に持ってらっしゃる★資産の活用と交換で、いくらでも面白いものをつくる
用意がこちらにはあることをもっと理解してほしいと思っています。
その気概や要望をクリエイター側も発信をしていないのだなということも課題として認識をしました。
- ④ ⑤まずは黒川プロジェクトに注力。以上です！

匿名

企業

- ① 日頃お世話になった人と再開し、新しい出会いがつぎつぎに生み出される場でした。キャンプといえば夏にウィンドサーフィンの仲間でキャンプを日常的にやるのですが、その時のキャンプと同じように、同じ興味関心をもった仲間がどんどん増えていくイメージに非常に近かったです。普通のキャンプだと家族や仲間と若干閉じてしまうのですが、コクリはそこが違うと思いました。
- ② ペア対話でぐっと距離が縮まった時が印象に残っています。それがいろいろなところで起こっていて、だから全体としての距離もグッと縮まった感じを受けました。
- ③ みらいに向けて具体的な一歩を踏みだしている仲間がたくさんいることは知っていましたが、本当にまだまだ知らない人、活動があるんだあ、広がっているんだなあ、と改めて実感しました。また、自分が関わっている取り組みでは、場作りに興味を持っている人と、自分のテーマを持っている人を分けて考えていました。昨年辺りから、この分けること自体がこちらの意図であり（思い込み？）、本質ではないということを改めて実感しました。3月末に、まさにその会を企画中だったのですが、混ぜる方向で確認が持てました。ありがとうございます！
- ④ チーム「***」では、京都ツアー、九州などいろいろなところについて続きをやろうということになっています。地域の良さを発見して、楽しみ、広げていく活動を持続的に行うことが使命です。まさにコクリですね！私自身はコクリ！にも非常に似ている「地域と企業の新しい接点を探り、共に学び合う」活動として「みらい創り活動」と呼ばせて取り組んでおります。
- ⑤ 「みらい創り活動」のギャザリングを3月末に実施する予定で、コクリ！キャンプで知り合った人に声をかけさせていただきました。何名か参加していただくことになり感謝しています。世の中にいろいろな類似活動があるので、それらをゆるやかにつなぐネットワークをつくりたいと思いました。